

別冊 INVITATION

大学院入試案内



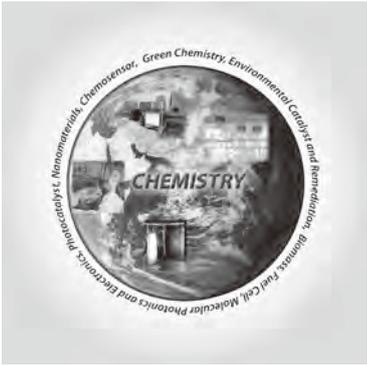
日本化学会

<https://www.chemistry.or.jp>

索引

北海道大学大学院環境科学院環境物質科学専攻	2	東京都立大学大学院理学研究科化学専攻	18
北海道大学大学院総合化学院	3	東京薬科大学大学院薬学研究科	19
岩手大学大学院総合科学研究科理工学専攻物質化学コース	4	日本女子大学大学院理学研究科	20
総合研究大学院大学先端学術院先端学術専攻加速器科学コース		明星大学大学院理工学研究科	21
物質構造科学コース素粒子原子核コース	5	立教大学大学院理学研究科化学専攻	22
筑波大学大学院理工情報生命学術院数理物質科学研究群		早稲田大学先進理工学研究科応用化学専攻	23
化学学位プログラム	6	早稲田大学パワーエネルギープロフェッショナル 育成プログラム	24
埼玉大学大学院理工学研究科物質科学専攻		神奈川工科大学大学院工学研究科	
応用化学プログラム	7	応用化学バイオサイエンス専攻	25
東邦大学大学院薬学研究科	8	総合研究大学院大学先端学術院先端学術専攻	
東邦大学大学院理学研究科	9	分子科学コース分子科学研究所	26
工学院大学大学院工学研究科化学応用学専攻	10	名古屋大学大学院工学研究科化学生命工学系専攻群	27
国立大学法人電気通信大学大学院	11	立命館大学大学院生命科学研究所	28
東京科学大学理工学系物質理工学院材料系応用化学系	12	大阪公立大学大学院工学研究科	
東京大学大学院工学系研究科応用化学専攻	13	物質化学生命系専攻応用化学分野	29
東京大学大学院工学系研究科化学システム工学専攻	14	九州大学大学院工学府応用化学専攻	30
東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻	15	沖縄科学技術大学院大学科学技術研究科	31
東京大学大学院薬学系研究科薬科学専攻薬学専攻	16		
東京都立大学大学院都市環境科学研究科環境応用化学域	17		

北海道大学大学院 環境科学院 環境物質科学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>■修士課程（大学学部卒・高専専攻科修了もしくは見込みであること） ■博士課程（大学院修士課程修了もしくは見込みであること）</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>■特別推薦入試（修士課程4月入学）：2026年5月15日～5月21日 ■秋季入試（修士・博士課程4月・10月入学）：2026年7月3日～13日 ■秋季推薦入試（修士課程4月入学）：2026年10月13日～19日 ■春季入試（修士・博士課程4月入学）：2027年1月6日～13日 入試により対象者が異なります。詳しくは専攻ホームページをご覧ください。</p>
<p>■試験内容</p>	<p>【秋季入試（2026年8月19日、20日）・春季入試（2027年2月17日、18日）】（札幌会場） 1) 基礎化学選抜：専門科目（物理化学と有機化学）の筆記試験および面接によって判定します。 2) 自己推薦選抜：これまでの研究などに関する口述試験によって判定します。 3) 併願：基礎化学選抜と自己推薦選抜をともに受験することが可能です。 【特別推薦入試（2026年6月17日）・秋季推薦入試（2026年11月17日）】（札幌会場・東京会場） 学業成績、推薦書、およびこれまでの研究などに関する口述試験によって判定します。 ※全ての試験で、英語外部試験（TOEFL, TOEICまたはIELTS）のスコアシートの提出が必要です。詳しくは専攻のホームページをご覧ください。</p>
<p>■インフォメーション</p>  	<p>近年、様々な環境問題が顕在化しています。自然現象の根源には化学反応が関係しているので、環境問題の解明や解決には化学的な考え方や化学を基盤とした研究が不可欠です。北海道大学大学院環境科学院環境物質科学専攻では環境問題を化学の側面からとらえ、環境に関わる物質の分布や作用を化学的観点から調べるとともに、環境浄化や環境保全のための新たな手法に関する最先端の教育・研究を行っています。</p> <p>本専攻は、生体物質科学コース、ナノ環境材料コース、光電子科学コース、環境触媒化学コースからなっており、入学後はいずれかのコースに所属します。</p> <p>生体物質科学コースでは、生体が作り出す物質などの化学的特性や機能を調べるとともに、生体システムを利用・模倣した環境浄化・修復法および生体関連物質の高感度モニタリングシステムの開発に関する研究を行っています。</p> <p>ナノ環境材料コースでは、化学物質の環境での動態とその影響を調べる新規手法および原子・分子レベルで構造が制御された新規機能材料の開発に関する研究を行っています。</p> <p>光電子科学コースでは、有機分子や分子集合体に基づく光材料や電子材料の構築と物性解明および機能開拓を通じて、環境問題の解決への応用が可能なデバイスなどの開発を目指した研究を行っています。</p> <p>環境触媒化学コースでは、地球環境修復のための新規な表面機能の創製とその解明、表面機能を利用した環境修復・保全のための触媒、および新エネルギーシステムについて研究しています。</p> <p>入学後は授業やセミナーなどで環境問題に関わる化学の知識を深めるとともに、研究室に所属し、修士論文や博士論文の作成のための研究を行います。また、授業や研究を通じて環境問題の解明と解決のための化学的手法を習得します。さらに、最先端の化学技術を修得するための実習プログラムも用意しています。</p> <p>本専攻では化学を基盤として環境問題の解明や解決に関する教育・研究を行っていますので、化学を専門とする学生諸君の出願を特に歓迎します。また、環境問題の解決には学際的な知識と研究能力が必要とされるため、これまで化学を専門としてこなかった学生も積極的に受け入れています。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>4月中旬、10月上旬、12月上旬に札幌で開催致します。オンラインでは4月下旬、6月中旬、10月上旬に開催致します。</p>
<p>■問 合 先</p>	<p>〒060-0810 札幌市北区北10条西5丁目 北海道大学 大学院環境科学院 環境物質科学専攻事務 TEL 011-706-2231 E-mail : sfmc_office@ees.hokudai.ac.jp https://www.ees.hokudai.ac.jp/division/material/</p>

北海道大学大学院総合化学院

<p>■募集学生</p>	<p>2027年（令和9年）4月入学・2026年（令和8年）10月入学 北海道大学大学院総合化学院総合化学専攻 ○修士課程（一般選抜、外国人留学生入試） ○博士後期課程（一般選抜、社会人入試、外国人留学生入試） ※最新情報・詳細はホームページを参照してください。 https://www.cse.hokudai.ac.jp/</p>
<p>■出願期間</p>	<p>2026年（令和8年）6月下旬（予定） ※詳細は募集要項（5月上旬よりホームページに掲載予定）で確認してください。 ※2027年（令和9年）4月入学希望者を対象に、第2次募集を行う場合があります。（第2次募集を行う場合の出願期間は12月下旬を予定） ※本学院ではTOEFLまたはTOEICのスコア提出を義務付けています。 出願予定者はこれらの試験を受験し、事前にスコアシートを取得しておいてください。（詳細はホームページ・募集要項をご覧ください。）</p>
<p>■試験日および試験内容</p>	<p>○修士課程 試験日：2026年（令和8年）8月5日（水）・6日（木） 試験科目（一般選抜）：筆答試験および口頭試問 試験科目（外国人留学生入試）：口頭試問 ○博士後期課程 試験日：2026年（令和8年）8月5日（水）・6日（木） 試験科目：口頭試問</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="text-align: center;">  <p>HOKKAIDO UNIVERSITY</p> </div> 	<p>■理工融合で実施する化学に特化した大学院教育：本学院は、北海道大学大学院理学院化学専攻ならびに大学院工学研究科応用化学系3専攻の改組・再編によって平成22年度4月に創設されました。同年にノーベル化学賞受賞に輝いた鈴木章名誉教授は、理学院化学専攻で学位を取得され、工学研究科で永年にわたり教育・研究を牽引された偉大な先輩です。本学院においては、理・工の化学系・生物化学系教員が密接に連携して教育研究にあたるとともに、物質材料研究機構、産業技術総合研究所、理化学研究所の研究者が連携講座教員として参画し、化学に求められる様々な社会的要請に対応できる能力の育成を図っています。</p> <p>■基礎学理から生産プロセス・材料物性解析まで系統的カリキュラム：本学院では、分子化学コース、物質化学コース、生物化学コースの3つの履修区分を設け、専門講義科目はもちろんのこと、Hokkaido Summer Institute等英語による講義を含め豊富な授業科目を提供し、化学の諸領域における研究成果を理学系・工学系の双方の立場から俯瞰した体系的な教育を行います。化学分野の基礎的素養及び高度な専門的素養を身につけ、国際化、科学技術の高度化、学際化等に対応できる多様な知識、判断力、実務対応能力を持つ人材、並びに基礎研究および応用の研究に必要な深い知識と能力を有し、独創的な研究を行うことができる人材を育成します。</p> <p>■国際的に通用する研究能力の育成：本学院博士後期課程では、「国際先端物質科学大学院（AGS）プログラム」により多くの優秀な留学生を受け入れており、日本人学生が国際感覚を磨く環境が整っています。海外短期留学・海外インターシップの支援、外国人研究者を招聘しての集中講義や学生主体の英語によるサマースクール企画を通じて、世界に通用する次世代フロントランナーの育成を積極的に推進します。</p> <p>■優れた業績への顕彰：本学院では、優れた業績をあげた修士・博士後期課程学生（社会人を含む）に対する短縮修了システムが整備されています。また、特に優れた内容の博士学位論文は、Springer社よりSpringer theses（単行本）として出版されます。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>最新情報・詳細は、下記URLに掲載します。</p>
<p>■問 合 先</p>	<p>〒060-8628 札幌市北区北13条西8丁目 北海道大学 総合化学院事務室 教務担当 電話：011-706-7247 FAX：011-706-7298 https://www.cse.hokudai.ac.jp/</p>

岩手大学大学院 総合科学研究科 理工学専攻 物質化学コース

<p>■募集学生</p>	<p>2027年（令和9）年4月入学・2026年（令和8年10月入学）</p> <p>◆修士課程 総合科学研究科 理工学専攻 物質化学コース （一般入試、推薦入試、社会人入試、外国人留学生入試）</p> <p>◆博士課程 理工学研究科 自然・応用科学専攻 （一般入試、社会人入試、外国人留学生入試）</p> <p>※最新情報・詳細はホームページを参照してください。 https://www.iwate-u.ac.jp/admission/graduate/info.html</p>
<p>■出願期間</p>	<p>2025年（令和8年）6月上旬（予定）</p> <p>詳細は学生募集要項（5月下旬）またはホームページでご確認ください</p> <p>※本学院ではTOEICのスコア提出を義務付けています。</p> <p>出願予定者はこれらの試験を受験し、事前にスコアシートを取得しておいてください。（詳細はホームページ・募集要項をご覧ください。）</p>
<p>■試験日程および内容</p>	<p>◆修士課程 総合科学研究科 理工学専攻 物質化学コース</p> <p>試験科目（一般選抜）：英語（TOEIC提出）、総合科目、面接</p> <p>試験科目（社会人選抜）：口頭試問、面接</p> <p>試験科目（外国人留学生入試）：口頭試問、面接</p> <p>第1期入試 2026年8月19日（水）～8月20日（木）</p> <p>第2期入試 2027年1月27日（水）～1月28日（木）</p> <p>◆博士課程 自然・応用科学専攻</p> <p>試験科目（一般選抜）：英語（TOEIC提出）、口頭試問、面接</p> <p>試験科目（社会人選抜）：口頭試問、面接</p> <p>試験科目（外国人留学生入試）：口頭試問、面接</p> <p>第1期入試 2026年8月21日（金）</p> <p>第2期入試 2027年1月29日（金）</p>
<p>■インフォメーション</p> 	<p>◆修士課程 総合科学研究科 理工学専攻 物質化学コース</p> <p>基礎化学と応用化学およびその関連分野に関わる高度な専門性と幅広い知識を備え、地域社会と国際社会の持続的発展を実現する上で解決すべき諸問題に、積極的に取り組むことができる理学的素養と工学的課題解決能力を有する化学専門技術者の育成を行います。</p> <p>◆博士後期課程 自然・応用科学専攻</p> <p>化学反応に基づく有用物質の創製および機能発現に必要な有機、無機、物理化学および化学工学分野における最新の学術研究成果を教授し、最先端の化学技術を駆使できる高度専門技術者と研究者の育成を行います。</p> <p>◆当専攻では他大学からの学生を広く募集しています</p> <p>◆奨学および早期修了制度</p> <p>成績優秀者には奨学制度や早期修了制度があります。</p>
<p>■大学院入試情報</p>	<p>最新の入試情報については、以下のホームページでご確認ください。 https://www.iwate-u.ac.jp/admission/index.html</p>
<p>■問 合 先</p>	<p>岩手大学学務部入試課 〒020-8550 岩手県盛岡市上田3-18-8 TEL 019-621-6064 E-mail admgs@iwate-u.ac.jp</p>

総合研究大学院大学 先端学術院先端学術専攻

加速器科学コース・物質構造科学コース・素粒子原子核コース

■総合研究大学院大学



- 総合研究大学院大学（総研大）は、学部を持たない大学院だけの大学です。5年間で一貫した博士教育を行うのみならず、後期3年の博士教育を併設したユニークな博士教育制度を導入しています。
- 総研大では、日本が世界に誇るトップレベルの研究機関（大学共同利用機関等）が保有する実験・観測施設等を授業に活用するとともに、国際的な研究拠点として第一線で活躍する国内外からの多数の研究者集団と日常的に接触できる理想的な教育環境を提供しています。
- 総研大の教員数は、学生1人に対して2～3人を擁しており、総研大は高度の専門教育と広い視野を養う総合教育を実施しています。

■KEK設置の3コース ／学生支援について



- 先端学術院先端学術専攻の加速器科学コース、物質構造科学コース、素粒子原子核コースの3コースは、高エネルギー加速器研究機構（KEK）にキャンパスを置き、世界最先端の研究設備・施設を用い、トップクラスの研究者による指導を行っています。
- 研究分野は、素粒子・原子核・宇宙に関する理論・実験から、加速器科学、量子ビームを使った物質・生命の研究まで、広い領域にわたっています。
- 在学生には、教職員の教育研究活動の補助的業務に従事することで給与を得るリサーチアシスタント（RA）制度や、経済的理由により授業料の納付が困難である者等を対象とした授業料免除制度など、経済的な支援制度が用意されています。
- SOKENDAI研究派遣プログラムといった海外の学会参加やインターンシップに必要な経費（旅費・滞在費など）を助成する事業があり、研究助成、支援も充実しています。

■入試について

- 5年一貫制博士課程および博士後期課程の入学者選抜試験を実施しています。
 - 2026年度に実施する入学者選抜の募集要項・スケジュールの詳細については、必ずホームページをご覧ください。
- 【KEK ウェブページ—総合研究大学院大学（入試情報掲載ページ）】
<https://www.kek.jp/ja/education/graduate/sokendai/admission/>



—出願期間（年間予定）

※コース名を以下のとおり省略しています。
 加速：加速器科学コース
 物構：物質構造科学コース
 素核：素粒子原子核コース

【5年一貫制博士課程（1年次）】		出願期間
加速（特別選抜）	2027年4月入学	2026年5月28日(木)～6月3日(水)
物構①	2026年10月入学／2027年4月入学	
加速①・素核①・物構②	2026年10月入学／2027年4月入学	2026年6月25日(木)～7月1日(水)
物構③	2027年4月入学	2026年12月3日(木)～12月9日(水)
【博士後期課程】		出願期間
加速①・物構①・素核①	2026年10月入学／2027年4月入学	2026年6月25日(木)～7月1日(水)
加速②・物構②・素核②	2027年4月入学	2026年12月3日(木)～12月9日(水)

—試験内容（予定）

【5年一貫制博士課程（1年次）】	試験日（予定）	選抜方法
加速（特別選抜）・物構①	2026年7月6日(月)・7日(火)※いずれか1日	書類選考、面接試験
加速①・素核①	2026年8月19日(水)・20日(木)／予備日：21日(金)	書類選考、筆記試験 面接試験
物構②	2026年8月19日(水)・20日(木)※いずれか1日 予備日：21日(金)	書類選考、面接試験
物構③	2027年1月19日(火)・20日(水)※いずれか1日	書類選考、面接試験
【博士後期課程】		試験日（予定）
加速①・物構①・素核①	2026年8月20日(木)／予備日：21日(金)	選抜方法 書類選考、面接試験
加速②・物構②・素核②	2027年1月19日(火)・20日(水)※いずれか1日	

■大学院説明会の開催

- 2026年度は以下日程で開催予定です（開催日が変更となる場合があります）。
 ▶2026年4月11日(土)・5月9日(土)・2027年3月（日付未定）
- 開催方法など決まり次第、KEKホームページへ記載いたします。
 ご興味のある方は下記・問い合わせ先掲載のKEKウェブページ—総合研究大学院大学よりご確認ください。

■問 合 先



高エネルギー加速器研究機構（KEK） 研究協力部研究協力課 大学院教育係
 〒305-0801 茨城県つくば市大穂1-1
 TEL：029-864-5128 Email：kyodo2@mail.kek.jp
 ◆KEK ウェブページ—総合研究大学院大学
<https://www.kek.jp/ja/education/graduate/sokendai/>





筑波大学大学院理工情報生命学術院数理物質科学研究群化学学位プログラム

<p>■募集学生</p>	<p>筑波大学大学院理工情報生命学術院数理物質科学研究群化学学位プログラム（博士前期課程および博士後期課程）2027年度大学院学生募集</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>■博士前期課程 推薦入学試験（7月実施） 2026年5月22日(金)～6月1日(月) 一般入学試験（8月実施） 2026年7月9日(木)～7月22日(水) 社会人入学試験（8月実施） 2026年7月9日(木)～7月22日(水) 一般入学試験（1～2月実施） 2026年11月30日(月)～12月10日(木) 社会人入学試験（1～2月実施） 2026年11月30日(月)～12月10日(木) ■博士後期課程 2026年10月入学入学試験（7月実施） 2026年5月22日(金)～6月1日(月) 一般入学試験（8月実施） 2026年7月9日(木)～7月22日(水) 社会人入学試験（8月実施） 2026年7月9日(木)～7月22日(水) 一般入学試験（1～2月実施） 2026年11月30日(月)～12月10日(木) 社会人入学試験（1～2月実施） 2026年11月30日(月)～12月10日(木)</p>
<p>■試験内容</p>	<p>■博士前期課程 推薦入学試験（7月期） 2026年7月3日(金) 外国語（英語）※：25点・専門科目（化学）：75点・口述試験（個別面接）：100点 一般入学試験（8月期） 2026年8月20日(木)～8月21日(金) 外国語（英語）※：200点・専門科目（化学）：600点・口述試験（個別面接）：400点 社会人入学試験（8月期） 2026年8月20日(木)～8月21日(金) 外国語（英語）※：200点・専門科目（化学）：600点・口述試験（個別面接）：400点 一般入学試験（1～2月期） 2027年1月27日(水)～1月28日(木) 外国語（英語）※：200点・専門科目（化学）：600点・口述試験（個別面接）：800点 社会人入学試験（1～2月期） 2027年1月27日(水)～1月28日(木) 外国語（英語）※：200点・専門科目（化学）：600点・口述試験（個別面接）：800点 ※外部英語試験（TOEFL、TOEIC、又はIELTSのいずれか）のスコアを提出。 ■博士後期課程 2026年10月入学入学試験（一般・社会人）（7月期） 2026年7月6日(月) 口述試験（個別面接）：200点 入学試験（8月期）（一般・社会人） 2026年8月24日(月) 口述試験（個別面接）：200点 入学試験（2月期）（一般・社会人） 2027年1月28日(木) 口述試験（個別面接）：200点</p>
<p>■インフォメーション</p> 	<p>化学学位プログラムでは、物理化学、無機・分析化学、有機化学などの化学の基礎を構成する分野のほか、物理学、生物学、地球化学、薬学、工学などとの境界領域化学の研究も精力的に行っています。また、数多くの研究機関を有するつくば地区の利点を生かし、国立研究開発法人産業技術総合研究所との連携大学院制度を活用した新領域の研究も活発に行っています。</p> <p>カリキュラムは、区分制博士課程の特徴を活かしてそれぞれの特性に合わせ、実施と評価を数段階に渡って懇切丁寧に行う、きめ細かな授業編成となっています。化学学位プログラムでは専門基礎科目と専門科目で化学の基礎と専門を幅広く修得し、優れた教員の指導の下に高度で最先端の研究を行います。これにより、博士前期課程では修士の学位を、博士後期課程では博士の学位を、無理なく取得する体制ができています。</p> <p>◎化学学位プログラムの過去問につきましては、入学を希望する研究室の指導教員に直接問い合わせてください。</p> <p>◎本研究群では博士後期課程において、「早期修了プログラム」を実施しています。このプログラムは「一定の研究業績や能力を有する社会人を対象に、標準修業年限が3年である博士後期課程を最短1年で修了し、課程博士号を取得するプログラム」です。</p> <p>◎博士後期課程学生が研究に専念できるように経済的支援を行っています。</p> <p>◎詳細はウェブサイトをご覧ください（https://program.chem.tsukuba.ac.jp/、4月中旬以降に公開）。</p>
<p>■早期プログラム</p>	<p>■社会人のための博士後期課程「早期修了プログラム」につきましてはの詳細は、ウェブサイトをご覧ください。 https://www.souki.tsukuba.ac.jp/ ■数理物質研究群 https://grad.pas.tsukuba.ac.jp/admissions/prospectivestudentportal/souki/</p>
<p>■問 合 先</p>	<p>〒305-8577 茨城県つくば市天王台1丁目1番地の1 筑波大学数理物質エリア支援室 大学院教務 TEL 029-853-4030 または、 〒305-8571 茨城県つくば市天王台1丁目1番地の1 筑波大学大学院理工情報生命学術院数理物質科学研究群化学学位プログラムリーダー 笹森貴裕 TEL 029-853-4412 sasamori@chem.tsukuba.ac.jp</p>

埼玉大学大学院 理工学研究科 物質科学専攻 応用化学プログラム

■募集学生

令和9年4月入学・令和8年10月入学
 ■博士前期課程 一般選抜（口述試験もしくは筆記試験）
 ■博士後期課程 一般選抜・社会人選抜（口述試験）
 ※最新情報はホームページを参照のこと



大学院入試情報

<https://www.saitama-u.ac.jp/rikogaku/>
 ※受験希望者は、希望研究室の教員と事前に連絡を取ってください

■出願期間（年間予定）



大学公式マスコット
「メリンちゃん」

■博士前期課程 令和9年4月入学・令和8年10月入学
 出願期間：2026年6月1日(月)～6月5日(金)
 試験日：（口述試験対象者）2026年7月11日(土)
 （筆記試験対象者）2026年8月20日(木)、21日(金)
 ■博士後期課程 令和9年4月入学（1次募集）・令和8年10月入学
 出願期間：2026年6月22日(月)～6月26日(金)
 試験日：2026年8月21日(金)
 令和9年4月入学者（2次募集、3次募集）についてはホームページを参照のこと

■試験内容

■博士前期課程
 ○口述試験：口頭試問（卒業研究内容の発表）、英語（TOEIC、TOEFLまたはIELTS）
 ○筆記試験：専門科目（物理化学、有機化学、無機化学、分析化学、化学工学の5問の中から4問を選択し解答）に関する筆記試験、面接、英語（TOEIC、TOEFLまたはIELTS）
 ■博士後期課程
 ○一般選抜・社会人選抜：口述試験（修士論文または研究経過報告書及び研究計画書等の発表と質疑応答（英語能力も併せて評価））

■プログラムの概要



図1 通電により変色する材料

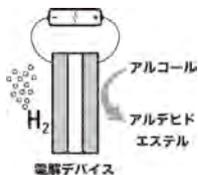


図2 電力による分子の転換技術

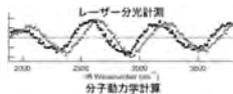


図3 複雑分子系のレーザー分光

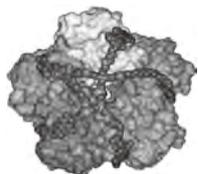


図4 分子が毒素に接着する様子

応用化学プログラムでは、**新規機能性材料の創製、先端的解析技術の開発、先進的物質循環制御系の構築**などの工学的創造に必須となる広範な知識と技能を修得できる教育・研究環境を整えております。**大学院修了（修士号取得）後は、産業界の中核を担う化学技術者・研究者として、ほとんどの学生が優良な化学系企業（製造業）に研究開発職として採用**されています。博士号取得者も公的学術・研究機関に就職する学生もおり、多くの学生が希望の進路に進んでいます。

■《研究分野（研究室）》研究内容

応用化学プログラムには5つの分野からなる10の研究室があり、様々なアプローチで化学の研究に取り組んでいます。

《**有機工業化学**（小玉・石丸・安武）》鏡像異性体を見分ける技術、有機分子組織の研究、電場に応答して色が変わる液晶材料など、有機化学の力で役立つ分子を創出しています。

《**有機合成化学**（三浦・木下・太刀川）》ケイ素やアルミニウムなどを利用した新規有機合成法と、通電や放射線照射により変色・発色する有機材料を開発しています。（図1）

《**プロセス工学**（松川）》化学製品の製造工程の最適化を目指して、「物性値」を鍵とした実験とAIを高度に統合した研究を展開しています。

《**触媒化学**（荻原）》未来社会で役立つ触媒プロセスを研究します。電力によるクリーンな分子転換、CO₂やメタンなど難反応性分子の有用物質への変換を目指します。（図2）

《**無機材料化学**（武田・柳瀬）》Li、Naイオン電池用電極材・固体電解質、大気中CO₂回収材、放射線検知用蛍光体、高性能サーミスタ、圧電センサ単結晶を開発しています。

《**分析化学**（齋藤・半田）》分子認識を生み出す分析化学を研究しています。機能性DNAアプタマー、金属タンパク質、腐植物質、超分子錯体など様々な物質を利用しています。

《**分光物理化学**（山口_雅・乙須）》独自開発の先端的レーザー分光法を複雑分子系に適用し、MD等の理論計算を援用して、その構造とダイナミクスを解明しています。（図3）

《**高分子化学**（松岡・幡野）》低分子から高分子までの合成研究を基盤とした機能材料を開発しています。（図4）

《**生体高分子工学**（鈴木・山口_雅）》化学と分子生物学を基に医療、環境など今後の社会に役立つバイオ機能分子を創製することを目的に基礎と応用に渡り研究しています。

《**環境化学**（関口・藤原）》大気汚染（特に微小・ナノ粒子）の評価に加え、紫外線や光触媒、超音波を用いた環境浄化技術、廃棄物やCO₂の炭素資源変換などに取り組んでいます。

■大学院入試ガイダンスの開催

ガイダンスは2026年4月下旬に開催（ハイブリッド）予定

■問合せ先

〒338-8570 さいたま市桜区下大久保255
 埼玉大学大学院 理工学研究科 物質科学専攻 応用化学プログラム
 e-mail : ogihara@mail.saitama-u.ac.jp
 大学院入試委員：荻原仁志（048-858-3504）



※出願期間・試験日は5月上旬配布予定の募集要項で必ず確認のこと 応用化学プログラム

東邦大学大学院 薬学研究科

<p>■募集学生</p>	<p>◆修士課程 薬科学専攻 10名 ◆博士課程 医療薬学専攻 5名</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p> <p>入試日程の詳細については、HP他募集要項を必ずご確認ください。</p>	<p>◆修士課程 薬科学専攻 特別選抜入試（1次募集）：2026年6月15日(月)～6月27日(土) 一般（1次）・特別選抜入試（2次募集）：2026年8月17日(月)～8月29日(土) 一般（2次）・特別選抜入試（3次募集）：2027年1月25日(月)～2月6日(土)</p> <p>◆博士課程 医療薬学専攻 一般（1次）：2026年8月17日(月)～8月29日(土) 一般（2次）・社会人（1次）：2026年11月16日(月)～11月28日(土) 社会人（2次）：2027年1月25日(月)～2月6日(土)</p>
<p>■試験内容</p>	<p>◆修士課程 薬科学専攻 入試 特別選抜入試（1次募集）：2026年7月4日(土) 一般（1次）・特別選抜入試（2次募集）：2026年9月5日(土) 一般（2次）・特別選抜入試（3次募集）：2027年2月13日(土) 試験科目 面接、一般入試のみ筆記試験（英語、但し免除制度有）</p> <p>◆博士課程 医療薬学専攻 入試 一般（1次）：2026年9月5日(土) 一般（2次）・社会人（1次）：2026年12月5日(土) 社会人（2次）：2027年2月13日(土) 試験科目 筆記試験（英語、但し修士課程修了者または修了見込みの場合、実施しない。）、プレゼンテーション・面接</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="text-align: center;">  <p style="font-size: 2em; font-weight: bold; margin-top: 10px;">東邦大学</p> </div>	<p>◆修士課程 薬科学専攻 薬科学専攻には、薬学の特徴である幅広い研究領域に関連する21講座を有し、各研究分野での最先端の研究と教育を行っております。本専攻では薬学分野のみならず自然科学系分野からの学生を広く募集しております。本専攻では薬を取り巻く学術と技術の進歩に貢献する、創薬科学を中心とした研究者を養成します。講義科目を通じて薬学の基礎的知識を学び、演習科目と各自が定めたテーマに基づく研究科目の履修を通じ、薬学の専門的知識・技術を修得します。</p> <p>◆博士課程 医療薬学専攻 医療薬学専攻には、薬学の専門性に対応する4つの研究分野として医薬品評価学、薬物治療学、分子病態解析学、医薬品分子設計学があり、各研究分野での医療に関連する最先端の研究と教育を行っています。本専攻では6年制の学部卒業生、自然科学系分野の修士課程修了者、社会人も広く募集しています。薬学研究科担当教員を中心として、本学医学部教員、医療センターの薬剤師等による指導のもと、薬剤師や研究者として自立して医療活動、研究活動を行うために必要な、高度な専門性と研究能力およびその基礎となる豊かな学識を養います。</p> <p>◆キャンパス 薬学研究科のある習志野キャンパス（最寄り駅：JR津田沼駅または京成大久保駅）は、東京駅や成田空港から1時間ほどの緑に囲まれた環境にあります。本学は2025年に100周年を迎えました。新研究棟（薬学部D館）を中心に最新の研究設備を揃え、今後もさらに環境整備が行われます。また本学には3つの医療センター（大森病院・大橋病院・佐倉病院）があり、「臨床に強い」という特徴を生かして研究面でも積極的な交流が行われています。</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>〒274-8510 千葉県船橋市三山2-2-1 東邦大学大学院薬学研究科 TEL：047-472-1217 E-mail：phar.kyomu.narashino@jim.toho-u.ac.jp https://www.toho-u.ac.jp/phar/graduate/index.html</p> <div style="text-align: right;">  </div>

東邦大学大学院 理学研究科

■募集学生

博士前期課程（91名）及び 博士後期課程（17名）

〔化学専攻、生物学専攻、生物分子科学専攻〕
〔物理学専攻、情報科学専攻、環境科学専攻〕

8月募集の入試合格者のうち、入学資格を満たす方は2026年10月入学が可能です。

■入試日程・試験科目

【博士前期課程】

入試区分	試験科目	出願期間	試験日	合格発表日
8月	一般入試	2026年 8/3(月)～ 8/13(木)	2026年 8/22(土)	2026年 8/27(木)
	社会人入試			
	外国人入試			
	特別選抜入試			
2月	一般入試	2027年 2/1(月)～ 2/8(月)	2027年 2/19(金)	2027年 2/25(木)
	社会人入試			
	外国人入試			
	特別選抜入試			

【博士後期課程】

入試区分	試験科目	出願期間	試験日	合格発表日
8月	一般入試	2026年 8/3(月)～ 8/13(木)	2026年 8/22(土)	2026年 8/27(木)
	社会人入試			
	外国人入試			
2月	一般入試	2027年 2/1(月)～ 2/8(月)	2027年 2/19(金)	2027年 2/25(木)
	社会人入試			
	外国人入試			

*入試区分により出願資格が異なります。

また、専攻により試験科目が異なる場合がありますので、詳細は必ず募集要項を参照のうえ、専攻へ問い合わせてください。

■インフォメーション



自然とは何だろう。
生命とは何だろう。

東邦大学大学院理学研究科では、基礎的な自然科学を中心に据える物理学、化学、生物学の3専攻だけでなく、現代の情報技術を支える情報科学、生命と化学の結合を目指す生物分子科学、持続可能な社会の創成を目指す環境科学の3専攻を加えた計6つの専攻が設置されています。

〈専攻・研究部門〉

化学専攻 : 無機・分析化学、物理化学、有機化学
生物学専攻 : 進化・生態学、機能生物学、人間生物学
生物分子科学専攻 : 分子生物学、分子科学、分子医学・生理学
物理学専攻 : 宇宙・素粒子物理学、物性物理学、量子・原子物理学
情報科学専攻 : 情報科学
環境科学専攻 : 環境化学、環境生態学、地球環境科学、環境管理・創成科学

■問合せ先

〒274-8510 千葉県船橋市三山2-2-1

東邦大学習志野学部学事課 理学部教務担当

電話 : 047-472-7208

E-mail : kyoumu@sci.toho-u.ac.jp

https://www.toho-u.ac.jp/sci/graduate/scigrad_exam/index.html



工学院大学大学院 工学研究科化学応用学専攻

■募集学生

2027年4月入学・2026年10月入学
■修士課程（一般入試、社会人特別選抜入試、外国人留学生入試、公募制推薦入試）
■博士後期課程（一般入試、社会人特別選抜入試）

■出願期間・試験日程 選考方法

■修士課程
 ・一般入試
【出願期間】 前期日程：2026年7月16日(木)～7月22日(水)
 後期日程：2027年1月18日(月)～1月23日(土)
【試験日程】 前期日程：2026年9月5日(土)、後期日程：2027年2月26日(金)
【選考方法】 学力試験（英語^{※1}、数学または専門基礎科目、専門科目）、面接試験
 ※1. TOEIC[®]スコアの提出
 ・社会人特別選抜入試、外国人留学生入試、公募制推薦入試については、本学ホームページを参照して下さい
■博士後期課程
 ・一般入試
【出願期間】 10月入学日程、前期日程（4月入学）：2026年7月16日(木)～7月22日(水)
 後期日程（4月入学）：2027年1月18日(月)～1月23日(土)
【試験日程】 10月入学日程、前期日程（4月入学）：2026年9月5日(土)
 後期日程（4月入学）：2027年2月26日(金)
【選考方法】 面接試験（場合により筆記試験等を課すことがあります）
 ・社会人特別選抜入試については、本学ホームページを参照して下さい

■インフォメーション



八王子キャンパス



最新機器が整備された化学実験室

人類の抱えている諸問題に対峙して、化学を基盤にこれを解決し、持続可能な社会の実現に貢献できる研究者・技術者を育成する、それが化学応用学専攻です。本専攻は①生命分野、②有機・高分子分野、③無機・金属分野、④環境・システム分野の4分野・19研究室で構成されています。大学院生の研究のアクティビティが高く、また大学院生の論文発表や学会発表に対する経済的支援も充実しています。さらに最先端の研究設備・機器を整備しており、研究環境も充実しています。国内・国外を問わず、他大学・他分野からも、本専攻で学び研究したいと考える学生を広く募集しています。

①生命分野

生物化学の観点から、人類の健康や地球環境の維持に貢献できる研究に取り組んでいます。生体組織構築メカニズムや遺伝子機能の解明を通して疾病治療を目指すこと、微生物や生物資源を活用し、新薬候補となる生物活性物質の探索や有用物質生産法の開発などを主なテーマとしています。生理活性物質・遺伝子・タンパク質の解析やケミカルバイオロジーに必要な実験技術に加えて、細胞や微生物の培養操作を学び、製薬・食品・化粧品業界の技術人材に求められる素養を身につけます。

②有機・高分子分野

物質変換技術の基盤となる有機化学・高分子化学に立脚し、所望の化合物を合成するための反応開発や、物性を評価し機能発現機構の解明に挑む研究に取り組んでいます。その具体例として天然物や医薬品の全合成研究、ポリマーブラシを用いた機能性表面の創製、食品の特徴を規定する分子の解明などが挙げられます。精密な分子設計と解析手法を身につけることができます。

③無機・金属分野

無機・金属材料の特性を活かした様々な機能性材料、機能デバイスの開発に取り組んでいます。ガラス/セラミックスの構造・物性制御、超高齢化社会に向けた医用材料（バイオマテリアル）の開発、低環境負荷材料（エコマテリアル）の創製、光電変換材料、蓄電デバイスの開発などが主なテーマです。幅広い社会ニーズ、時代の要請に応える世界最先端の研究開発を推進します。

④環境・システム分野

化学工学・材料化学に立脚し、環境問題・エネルギー問題に取り組んでいます。水処理や空気浄化システムの開発、リンなど戦略物質の資源回収システムの開発、高性能触媒の開発、水素エネルギー利用システムの開発、新規二次電池材料の開発などが主なテーマです。実験的アプローチのみならず、計算化学的アプローチや機械学習を駆使した研究を推進できる環境を整備しており、企業との共同研究も盛んです。

受入研究室の詳細は以下を参照して下さい。

https://www.kogakuin.ac.jp/faculty/graduate_school/mb.html

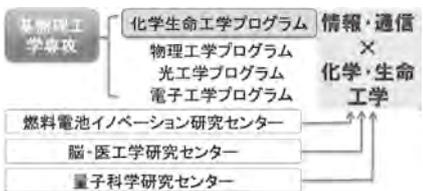
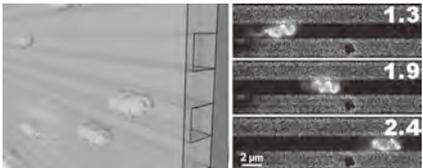


■問合せ

〒163-8677 東京都新宿区西新宿1-24-2 工学院大学 入学広報部入学広報課
 TEL：03-3340-0130 E-mail：nyushi@kogakuin.ac.jp
 ※入試に関する最新情報は本学ホームページを参照してください。
<https://www.kogakuin.ac.jp/admissions/graduate/index.html>



国立大学法人 電気通信大学 大学院

■募集学生	電気通信大学 大学院 情報理工学研究科 基盤理工学専攻 化学生命工学プログラム 2027年（令和9年）4月入学 大学院博士前期・後期課程学生募集
■出願期間	2026年6月4日～6月9日 博士前期課程推薦入試【7月実施】 2026年7月21日～7月27日 博士前期課程・後期課程一般入試【8月実施】 外国語（TOEIC/TOEFL）の出願期日にも留意のこと 2027年1月4日～1月7日 博士後期課程一般入試【2月実施】
■試験日程・内容	入試内容の一部に変更があり、本学ウェブサイトや学生募集要項で最新の情報をご確認ください。 7月1日(水) 博士前期課程推薦入試 7月16日(木) 推薦入試合格発表 8月18日(火) 博士前期課程一般入試 (専門科目400点, 外国語(TOEIC/TOEFL)100点) 8月19日(水) 博士後期課程一般入試 9月8日(火) 博士前期課程・後期課程一般入試合格発表 2027年2月1日(月) 博士後期課程一般入試
■プログラム紹介  <p>図1 化学生命工学プログラムの紹介</p>  <p>図2 高輝度分子蓄光 (平田修造研究室)</p>  <p>図3 DNA集合体の機能探索 (田仲真紀子研究室)</p>  <p>図4 量子ビームによる触媒反応探索 (三輪寛子研究室)</p>  <p>図5 微生物のドリル運動 (中根大介研究室)</p>	<h3>本専攻の幅広い研究・教育</h3> <p>本学の学域（学部）は3類、大学院は4専攻で構成され、「化学生命工学プログラム」は基盤理工学専攻に属する4つの教育プログラムの一つです（図1）。 本学は文部科学省「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業」に採択され、世界水準の研究を推進しています。本専攻では、化学にとどまらず、生命科学、物理学、電子工学、光学などと連携した幅広い理工学分野の研究・教育が行われています。</p> <h3>本プログラムの理念・内容</h3> <p>化学生命工学プログラムでは、材料化学と生命科学が融合した研究・教育を行っており（図1）、17名の教員が在籍し、専攻全体では約40名の研究者が活動しています。 また、本学には燃料電池、脳・医工学、量子科学、マテリアルインフォマティクスなどを推進する研究センターが多数あり、IT、AI、ロボティクス分野との連携も進んでいます。研究室間の自由闊達な交流や横断的な講義を通じて、自ら新しい科学・工学を創出する気風が育まれています。</p> <h3>基盤技術が最先端を創る</h3> <p>化学関連の研究室をいくつか紹介しましょう。 平田研究室では、計算科学を活用して励起子と分子構造の関係の理解を開拓しながら、分子を合成して高輝度蓄光材料の創成とその応用開拓を目指しています（図2）。 田仲研究室では、生命機能との相関の解明や材料開発を視野に入れ、外部環境に応じて形成されるさまざまなDNA集合体の機能と特性を探索しています（図3）。 三輪研究室では、量子ビームを活用した最先端の測定手法によって触媒反応の機構を探求し、データサイエンスを駆使して次世代触媒の開発を進めています（図4）。 中根研究室では、土壌、海洋、動物体内等でうごめく微生物を顕微鏡で眺めることで、マイクロの世界の行動原理を解明・制御することを目指しています（図5）。 創薬エンジニアリング、ホテルに学ぶ光機能や結晶化学発光の探究、ナノテクノロジー材料としての単分子磁石、高周期元素を含む有機金属化学、フラーレンの材料化学、分子ビームを用いた極限計測、イメージングによる生体機能や運動メカニズムの解明、神経系の分子機構と制御など、多様な研究にも取り組んでいます。</p> <h3>材料系技術者・研究者を目指す人を歓迎します</h3> <p>電気通信大学は京王線調布駅から徒歩5分の場所にあり、都心や多摩地域からのアクセスが抜群です。ぜひオープンキャンパスなどで一度訪れてみてください。 化学を基盤に、生命、電気、光学、情報、通信、機械分野にも精通した高度な技術者・研究者を目指す方には、電気通信大学大学院化学生命工学プログラムをお勧めします。幅広く奥深い化学研究に、ぜひ共に挑戦しましょう。</p>
■ガイダンス等	3月26日(木) 【大学院説明会】実施後にオンデマンド動画を公開。 質問・相談は入試課大学院入試係 (open-camp@office.uec.ac.jp) まで。 3月～6月頃 【研究室見学】教員一覧から連絡先を調べて、直接研究室の教員とやり取りをする形になります。 5月24日(日) 【オープンラボ】
■問合せ先	〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1 電気通信大学 Tel 042-443-5490 (石田)

東京科学大学 理工学系 物質理工学院 材料系、応用化学系

■募集学生	<p>2027年度大学院修士課程学生募集 (2026年9月入学、2027年4月入学*)</p> <p>2027年度大学院博士後期課程学生募集 (一般・社会人プログラム) (2026年9月入学、2027年4月入学*)</p> <p>https://www.titech.ac.jp/graduate_school/news *東京工業大学は東京医科歯科大学と令和6(2024)年10月1日に統合しました。</p>
■出願期間	<p>【修士課程】 2026年6月4日(木)～6月10日(水) *修士課程募集要項は2026年4月7日(金)にWebで公開されます(冊子体の配布はありません)。 *募集に関する詳細は必ず最新の募集要項でご確認ください。</p> <p>【博士後期課程】 2026年6月下旬～7月上旬(2026年9月入学) 2027年1月上旬～中旬(2027年4月入学) *博士後期課程募集要項は2026年5月上旬、及び2026年11月上旬に配付されます。 *出願に先立ち、修士課程及び博士後期課程ともに、出願資格審査の必要な場合があります。</p>
■試験内容	<p>【修士課程】 変更の可能性がありますので募集要項でご確認ください A日程：口述試験2026年7月11日(土)(材料系：対面；応用化学系：オンライン) B日程：筆答試験(専門科目) 2026年8月18日(火)(材料系・応用化学系) 口頭試問 2026年8月24日(月)(材料系：オンライン) 2026年8月25日(火)(応用化学系：オンライン) 英語試験：出願時に外部英語テストのオンライン版スコアシートを印刷したものを提出(詳細は募集要項でご確認ください)</p> <p>【博士後期課程】 変更の可能性がありますので募集要項でご確認ください 口頭試問：学位論文(又はこれに代わる研究業績)の試問、学力検査 英語試験：出願時に外部英語テストのスコアシート原本を提出(詳細は募集要項でご確認ください)</p>
■インフォメーション	<p>材料系と応用化学系の二つの系から構成される物質理工学院は、物質の構造・物性の理解に基づいた機能創成を行う研究者・技術者やダイナミックな物質の化学変化を操る原理・手法を創出する研究者・技術者の育成を目指しています。本学院は、世界最高峰の研究者が相互に交流・協力し、あらゆる物質を対象とし、環境・エネルギー・資源・安全・健康の課題解決という目標に向かって若人を育成する揺り籠であり、夢に燃える彼らと共働する道場です。地球の生き物たちと共生する物質文明を創造する学びと研究に触れてみませんか。</p>
■大学院入試ガイダンスの開催	<p>【大学院説明会】 変更や追加の可能性がありますので、Webでご確認ください。</p> <p>材料系・応用化学系 3月30日(月)(対面：大岡山) 3月31日(火)(対面：すずかけ台) 4月11日(土)(オンライン：両キャンパス) 4月18日(土)(対面：大岡山) 5月16日(土)(対面：すずかけ台) すずかけサイエンスデイと同日 5月30日(土)(対面：すずかけ台) 5月31日(日)(対面：大岡山) 時間：13：00-17：00</p>
■問 合 先	<p>【材料系】 〒152-8550 東京都目黒区大岡山2-12-1 S7-35 東京科学大学 理工学系 物質理工学院 材料系事務室 E-mail：mat.adm@mac.titech.ac.jp</p> <p>【応用化学系】 〒152-8550 東京都目黒区大岡山2-12-1 S1-7 東京科学大学 理工学系 物質理工学院 応用化学系事務室 E-mail：ent_admin@cap.mac.titech.ac.jp</p>

東京大学大学院工学系研究科応用化学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>東京大学大学院 工学系研究科 応用化学専攻 修士課程（2027年4月入学、2026年10月入学） 博士課程（2027年4月入学、2026年10月入学） 最新情報はWebでご確認ください（http://www.appchem.t.u-tokyo.ac.jp/）。 ここに書かれている内容は全て暫定案です。変更される可能性があるため、4月初旬から配布予定の募集要項・入試案内書をよくご覧ください。</p>
<p>■出願期間</p>	<p>2026年5月 [修士課程、博士課程（A日程）：予定] 2026年11月 [博士課程（B日程）：予定]</p>
<p>■試験内容</p>	<p>入学者選抜試験 ・ 修士課程、博士課程（A日程） 2026年8月（詳細は4月初旬から配布予定の募集要項・入試案内書をご覧ください）</p> <p>試験内容：筆記試験（一般教育科目 化学、専門学術（博士のみ））、 口述試験、英語（TOEFL-iBTスコアの提出）</p> <p>・ 博士課程（B日程） 2027年1月 [予定]</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="text-align: center;">  <p>東京大学工学部 大学院工学系研究科 応用化学科 応用化学専攻 Department of Applied Chemistry, The University of Tokyo</p>  </div>	<p>「21世紀は応用化学の時代」～物質を自在にデザインし、新しい機能を創出～</p> <p>応用化学専攻では、化学を基礎として環境・エネルギー・情報など多岐の分野にわたる基礎・応用研究を展開しています。高度に有能な研究者、技術者を養成するために、基礎学力の充実、高度な専門知識が獲得できるカリキュラムを設けており、さらに修士論文・博士論文研究で実践的な能力を養います。</p> <p>応用化学専攻の研究室では、光に応答して機能を発現する材料の開発、新エネルギー開発、ウェアラブル半導体デバイスや有機エレクトロニクスの実現に向けたナノテクノロジー、分子性ナノ空間材料や電子機能材料の開発とその物性研究、生体分子計測と生体ナノマシン、1分子計測と制御化学、環境保全のための触媒化学研究、自己組織化による物質創成研究、次世代高分子材料の開発、人工光合成系の理論的研究、遷移金属クラスター化学などの分野において、基礎から応用にわたる幅広い研究を展開しています。</p> <p>また、応用化学専攻の多くの研究室は大型プロジェクトに参画しており、さらに国際共同研究も盛んであるなど、大学院の学生が世界の第一線で活躍する研究者に成長できる研究・教育の舞台を用意しています。博士課程学生は、その約30%が学振特別研究員として月額20万円の奨励金を、このほかSEUTフェロースhipや博士課程教育リーディングプログラム、化学人材育成プログラムなどにより、ほぼ全員が何らかの形で給与を受けています。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>（専攻説明会）2026年3月30日（月） 13：00～ 駒場IIリサーチキャンパスで対面実施予定 （第1回入試説明会） 2026年4月11日（土） 13：00～ （第2回入試説明会） 2026年5月9日（土） 13：00～（内容は第1回と同様） オンライン（Zoom）にて開催の予定</p>
<p>■お問合せ</p>	<p>東京大学 大学院工学系研究科 化学・生命系事務室 電話 03-5841-7211、7361、7213</p>

東京大学大学院工学系研究科化学システム工学専攻

■募集学生	東京大学 大学院工学系研究科 化学システム工学専攻 修士課程（2027年4月入学、2026年10月入学） 博士課程（2027年4月入学、2026年10月入学） ※最新情報はWebでご確認ください (http://www.chemsys.t.u-tokyo.ac.jp/)。 詳細は、4月上旬から配付される入試案内書をご覧ください。
■出願期間（年間予定）	2026年5月29日(金)～6月4日(木)
■試験内容	入学者選抜試験 ・修士課程、博士課程 2026年8月31日(月)～9月2日(水) [実施予定] 試験内容：筆記試験、口述試験及び提出書類等
■インフォメーション   化学システム工学専攻  大学院入試情報	化学とシステムの思考の融合～化学システム工学専攻 化学システム工学専攻では、化学に対する広範な知識をベースに、環境・エネルギー・医療・安全性などの問題に正面からシステムチックにアプローチし、化学と社会との密接な関係を築く研究を行うことができます。 化学システム工学専攻の特徴は、単に面白いからという理由で分子や物質を合成するのではなく、ある目的・機能をもった分子・物質、材料・デバイスを開発し、さらにそれをどのように応用すれば、社会的なニーズに応えることができるかを、常に念頭において研究を行っているという点です。そのため、企業からの共同研究の申し込みも多く、学生達も積極的に研究と向き合っています。 化学システム工学専攻の研究室では、非常に基本的な原理を追究している研究から、社会における物質循環や安全性の問題に取り組んでいる研究まで、多岐にわたった研究に取り組んでいます。そしてどの研究室においても、現実の問題にどのように取り組み、解決していくかという明確な視点をもって研究を進めています。研究が社会的ニーズに応えることになるのです。
■大学院入試ガイダンスの開催	第1回 2026年3月27日(金) 15:00～17:00 駒場IIキャンパス 第2回 2026年4月18日(土) 15:00～ 本郷キャンパス 第3回 2026年4月21日(火) 15:00～ 本郷キャンパス *第1回はオンサイトのみ、第2回・第3回はオンサイトとオンラインの併用でガイダンスを実施。 *第1回、2回はラボツアーもあります。 ※最新情報はwebでご確認ください。 http://www.chemsys.t.u-tokyo.ac.jp/curriculum/graduate/admission/
■問 合 先	東京大学 大学院工学系研究科 化学システム工学専攻 常務委員 e-mail admission@chemsys.t.u-tokyo.ac.jp

東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻

■募集学生	東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻修士・博士課程募集 修士課程（2026年10月入学、2027年4月入学） 博士課程（2026年10月入学、2027年4月入学） 詳細については本研究科学生募集要項（2026年3月下旬予定）をご確認ください。
■出願期間（年間予定）	【修士課程】 ・学生募集要項公表 2026年3月下旬 ・出願期間 2026年6月中旬（予定） 詳細については本研究科学生募集要項（2026年3月下旬予定）をご確認ください。 【博士課程】 詳細については本研究科学生募集要項（2026年3月下旬予定）をご確認ください。
■大学院入試ガイダンスの開催	最新情報についてホームページをご覧ください。 関連基礎科学系 (https://dbs.c.u-tokyo.ac.jp/) 生命環境科学系 (https://bio.c.u-tokyo.ac.jp/) 広域システム科学系 (https://system.c.u-tokyo.ac.jp/)
■関連基礎科学系の紹介 	関連基礎科学系は、基礎科学を研究する組織で、相互に関連する5つのグループで構成されています。化学の研究室は主に分子科学・物質科学のグループ（D2）に所属しています。物理化学、無機化学、有機化学の体系を中心に、分子やその集合体、表面・界面、生体擬似組織体などを対象とし、ミクロからメゾ、マクロの各階層にわたる構造・ダイナミクス・機能に関する教育・研究を、理論と実験の密接な協力のもとに行っています。より詳しい研究内容を知りたい方は、関連基礎科学系のHP (https://dbs.c.u-tokyo.ac.jp/) をご覧ください。
■生命環境科学系の紹介 	生命環境科学系は、生命に関して分子からヒトまでを包括するきわめて学際的で先端的な研究者組織です。化学に関わる研究室は主に、生化学（核酸・タンパク質の化学）、生物物理学、細胞生物学、分子生物学、創薬、神経・運動生理生化学などを専門としています。分子から細胞、組織と積み上げて人間を理解する方向と、ミクロな生命環境科学のあり方を考える方向性を持った人材を養成することを目指し、基礎研究から応用研究まで幅広い研究を行っています。より詳しい研究内容を知りたい方は、生命環境科学系のHP (https://bio.c.u-tokyo.ac.jp/) をご覧ください。
■広域システム科学系の紹介 	広域システム科学系は、自然界から人間社会にいたるさまざまなレベルの複雑な事象の解析や問題の解決に、システムの思考を駆使して総合的・複合的に取り組んでいます。化学を方法論とする研究室は、自然体系学、複合系計画学の大講座に所属し、各専門分野に固有の分析的方法論を深めると同時に、それらをシステム論的な視点から総合化しようとする新しい基礎科学、環境科学、分析科学、生命科学、エネルギー科学などの研究アプローチに特色があります。より詳しい研究内容を知りたい方は、広域システム科学系のHP (https://system.c.u-tokyo.ac.jp/) をご覧ください。
■問 合 先	〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1 東京大学大学院総合文化研究科事務部教務課総合文化大学院チーム https://www.c.u-tokyo.ac.jp/admission/graduateschool/index.html 電話：03-5454-6050、6049

東京大学大学院薬学系研究科（薬科学専攻、薬学専攻）

<p>■募集学生</p>	<p>2027年度（2027年4月及び2026年10月入学者用） 東京大学大学院薬学系研究科学生募集（薬科学専攻、薬学専攻） ■修士課程：大学卒業・卒業見込みの者又はこれに準ずる者 ■博士後期課程（3年制）：大学院修士課程修了・修了見込みの者又はこれに準ずる者 ■薬学博士課程（4年制）：6年制大学卒業・卒業見込みの者又はこれに準ずる者</p>
<p>■出願期間</p>	<p>【各課程共通】2026年6月中旬（予定） ■一般選抜、外国人留学生特別選抜、社会人特別選抜（各課程共通） ■2027年4月入学者及び2026年10月入学者を募集します。 ■薬学系研究科webシステムからのオンライン出願となります。詳細については、公表可能となり次第、薬学系研究科HPで公表します。</p>
<p>■試験日程等</p>	<p>2026年8月6日(木) 及び2026年8月7日(金) ＊詳細については、公表可能となり次第、薬学系研究科HPで公表します。</p>
<p>■インフォメーション</p>	<p>薬学は、医薬の創製から適正使用までを目標とし、低分子有機化合物から生体高分子に渡る生命に関わる物質全般と、物質同士の相互作用から生じる生命現象を研究対象とします。科学の立場から人類の健康維持や増進に積極的に貢献して行ける点が薬学の大きな魅力で、皆さんの人生を賭けて追究するにふさわしい、素晴らしい学問です。本研究科は、明日の創薬生命科学のメインプレーヤーを目指す意欲的な学生を、生物、化学、物理の広い分野から募集します。</p> <p>本研究科は、薬科学専攻と薬学専攻の2専攻、35教室から成り、世界第一線の研究を行っています。また、研究に裏付けられた最高水準の学生教育により、創薬科学および基礎生命科学の発展に寄与する研究者リーダーや、医療行政に貢献する人材、さらには高度医療を担う薬剤師を、アカデミアや官公庁、製薬企業、化学メーカー、病院などに多数輩出しています。</p> <p>薬学基礎研究には、生命現象からその原因分子（主に蛋白質などの生体高分子）やメカニズムを発見するトップダウンの方式と、生物活性分子（主に天然物などの低分子）から生命現象を解明、制御するボトムアップの方式の2つの方法論が存在します。生命科学という総合学問では、2つの方法論が車の両輪のように連携しながら研究を進めていく必要があります。驚くべきことに、1つの研究科内で「病態治療」を旗印に高い水準の両輪を兼ね備えているのは、世界的に見て日本の薬学だけです。</p> <p>本研究科においてこの両輪は、国際卓越大学院プログラムをはじめとする統合型教育・研究プログラムによって、ますます連携を強めています。様々な学生支援体制によって、本研究科の博士後期課程学生は一定額のサポートを受けます。</p> <p>修士課程から博士後期課程への進学率は約50%です。また、56人が日本学術振興会の特別研究員に採用されています（採用予定含む）。留学生は大学院学生のおよそ15%で、54人の留学生が本研究科に在籍しています。約50%のセミナーに英語でのディスカッションを取り入れており、高いプロ意識と国際感覚を磨くことができます。各種支援プログラムのもと海外の研究・教育機関に短期留学し、更なる研鑽を積むこともできます。その一方で、陸上および水上運動会、その他のスポーツ大会を通して、学問以外の人間関係も育てています。</p>
<p>■大学院入試説明会 （各教室からの紹介を含む）の開催</p>	<p>2026年5月9日(土) 13時～ ＊詳細については、公表可能となり次第、薬学系研究科HPで公表します。</p>
<p>■問い合わせ・連絡先</p>	<p>東京大学大学院薬学系研究科事務部教務チーム 〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 Eメール：gakuin1@mol.f.u-tokyo.ac.jp 電話：03-5841-4704（平日9時～17時（12時～13時を除く）） ホームページ：http://www.f.u-tokyo.ac.jp/exam/</p>

東京都立大学大学院 都市環境科学研究科 環境応用化学域

<p>■募集学生</p>	<p>東京都立大学大学院 都市環境科学研究科 環境応用化学域 2026年度10月入学および2027年度4月入学 博士前期課程（修士課程）、博士後期課程（博士課程） 募集人数：博士前期課程50名、博士後期課程6名</p>
<p>■出願期間</p>	<p>○博士前期課程（修士課程）、博士後期課程（博士課程） 【2026年度10月入学】 2026年6月18日(木)～6月25日(木) 【2027年度4月入学】 [夏季試験] 2026年6月18日(木)～6月25日(木) [冬季試験] 2027年1月7日(木)～1月14日(木) ※出願は郵送のみ受け付けます（必着）。募集要項記載の出願資格の項目によっては事前に「出願資格審査」が必要な場合があります。また、身体に障がい等があるため受験及び修学に際して特別な配慮を希望する方は「事前協議」が必要です。</p>
<p>■試験日及び試験科目</p>	<p>○博士前期課程（修士課程） 【2026年度10月入学】 2026年7月24日(金)：面接（口頭試問を含む） 【2027年度4月入学】 [夏季試験] 2026年7月23日(木)：有機化学、物理化学・無機化学 7月24日(金)：面接（口頭試問を含む） [冬季試験] 2027年2月9日(火)：面接（口頭試問を含む）</p> <p>○博士後期課程（博士課程） 【2026年度10月入学】 2026年7月23日(木)：専門科目、面接（口頭試問を含む） 【2027年度4月入学】 [夏季試験] 2026年7月23日(木)：専門科目、面接（口頭試問を含む） [冬季試験] 2027年2月10日(水)：専門科目、面接（口頭試問を含む） ※上記の試験日及び試験科目は予定であり、変更される場合もありますので、5月中旬配布予定の募集要項で必ず確認してください。</p>
<p>■インフォメーション</p> 	<p>当学域では、多様な化学分野をベースに、実用につながる工学としての「応用化学」に関する研究と教育を行っています。特に、環境、エネルギー、バイオなどの材料を始めとする幅広い分野において、化学技術を駆使して持続可能な社会に貢献する分子や材料を創造することができる知識や能力を持った研究者、化学者を育成します。当学域のカリキュラムは、講義の約50%を英語で行うなどグローバル化に対応した講義を実施しており、カリキュラム制度もすべての国々の学期をカバーできるクォーター制に対応しています。また、研究面では、右図に示す広大な応用分野を対象に、世界トップレベルの研究を行っています。当学域では、他大学・他分野からの学生のみならず社会人学生や外国人留学生も広く募集しています。</p> <div data-bbox="1125 1265 1508 1769">  <p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンケミストリー ・二酸化炭素分離膜 ・分離材料 ・環境浄化材料 ・環境化学工学 ・環境分析 ・分子系センサー ・レーザー分光 ・In situ 分光 ・インクジェット分析 <p>エネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人工光合成 ・有機素太陽電池 ・リチウム二次電池 ・燃料電池 ・エネルギー変換材料 ・高分子電解質膜 ・エネルギーデバイス ・省エネルギーデバイス ・高効率エネルギー蓄積デバイス <p>バイオ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドラッグデリバリーシステム材料 ・エビジェネティクス工学 ・再生医療 ・人工臓器 ・細胞工学 ・人工酵素 ・バイオ分離工学 ・バイオセンサー ・マイクロ化学分析システム <p>ナノテクノロジー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分子機械 ・分子組織材料 ・ナノ構造制御 ・イオン性有機分子材料 ・機能性色素材料 ・刺激応答性色素材料 ・運送物質変換材料 ・機能性金属錯体 ・機能性高分子材料 ・触媒 ・量子光子 ・光子デバイス ・高分子分離膜 ・機能性ナノファイバー ・電光デバイス ・無機機能性材料 ・有機無機ハイブリッド材料 ・光・電子機能性セラミックス </div>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>環境応用化学域の大学院説明会を2026年5月頃に2度開催する予定です。詳しくは環境応用化学域のウェブサイトでご確認ください。 https://apchem.ues.tmu.ac.jp</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1 東京都立大学大学院 都市環境科学研究科 環境応用化学域 E-mail: apchem@tmu.ac.jp 学域長：柳下 崇 (042-677-2842) 大学院入試委員：石割文崇 (042-677-2835) ishiwari@tmu.ac.jp</p> 

東京都立大学 大学院 理学研究科 化学専攻

■募集学生	2026年度10月入学 および2027年度4月入学 いずれも博士前期課程（修士課程）、博士後期課程（博士課程） 募集人数：博士前期課程35名、博士後期課程9名
■出願期間（年間予定）	*詳しくは、募集要項をご覧ください。5月15日(金) および10月1日(木) から理学研究科HPにてダウンロードできます。 *社会人の場合には、それぞれの事前協議、出願相談が必要です。これらの手続き方法につきましても、募集要項をご覧ください。
■試験内容	○博士前期課程（修士課程） 〔2026年度10月入学〕 8月25日(火)、および8月26日(水) 〔2027年度4月入学〕 〔夏季入試〕8月25日(火)、および8月26日(水) 〔冬季入試〕2月9日(火)、および2月10日(水) *英語に関してTOEFL、TOEIC、IELTSにより評価します。 ○博士後期課程（博士課程） 〔2026年度10月入学〕 8月24日(月) 〔2027年度4月入学〕 2月12日(金)
■インフォメーション	<p>当専攻は都心からほどよい距離にある緑豊かな南大沢キャンパスに位置します。修士課程の定員35名に対して、専任の教授・准教授・助教は30名(2026年2月現在、非常勤・特任・客員教官は人数に含みません) という真の少人数教育を実践しています。当専攻では他大学、他分野、及び社会人からの学生を広く募集します。</p> <p>【研究分野・研究室】</p> <p>無機・分析化学、有機化学・生物化学、物理化学など化学分野を均等にカバーしており、幅広い社会ニーズや学生の興味に対応することが可能です。</p> <p>錯体化学：不斉な構造を有する金属錯体の合成化学、新規なポルフィリン系配位子の合成</p> <p>環境・地球化学：環境化学、大気科学、分析化学</p> <p>無機化学：機能性無機材料や無機物質の開発・分析・触媒応用</p> <p>同位体化学：放射化学的手法を用いた機能性材料の解析</p> <p>有機化学：環境低負荷型の精密合成を実現する高性能分子触媒の設計・合成、有機高機能材料</p> <p>有機合成化学：ヘテロ典型元素の特性を活かした新規な分子の構造と機能の開拓</p> <p>生物化学：染色体機能に関する研究、プロテオーム解析</p> <p>有機構造生物化学：生体高分子のNMR観測の方法論、蛋白質の高次構造</p> <p>物性物理化学：薄膜成長技術を用いた無機固体材料の合成と機能開発</p> <p>反応物理化学：電子線・レーザー光線・イオンビーム・X線を用いた反応ダイナミクス研究</p> <p>理論・計算化学：電子相関理論の開発、化学反応・分子物性の理論解析</p> <p>【入試情報】</p> <p>博士前期課程（修士課程）の〔夏季入試〕では、化学Ⅰ（基礎問題、すべて解答、無機・分析化学、物理化学、有機化学の基礎的内容）と化学Ⅱ（選択問題、無機・分析化学、物理化学、有機化学の計3問から2問選択して解答、基礎問題に比べてやや専門的な内容を出題予定）に分けて実施します。〔冬季入試〕は化学選択問題より出題されます。</p> <p>過去の試験問題は当専攻のウェブサイトに掲載されています。</p>
■大学院入試ガイダンスの開催	2026年度の「化学専攻大学院説明会」は5月16日(土) に開催します。
■問 合 先	〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1 東京都立大学 大学院 理学研究科 化学専攻 事務室 TEL 042-677-1111 (代表)、FAX 042-677-2525、 URL https://www.chem.se.tmu.ac.jp/ 専攻長：歸家令果 (042-677-2533) 広報委員：茂木信宏 (042-677-2531) 大学院入試委員：廣瀬 靖 (042-677-2536)

東京薬科大学大学院薬学研究科

<p>■募集学生</p>	<p>薬科学専攻修士課程（薬学部やその他理系大学の卒業生もしくは卒業見込みの方） 薬学専攻博士課程（6年制薬学部卒業生もしくは卒業見込みの方、4年制薬学部卒業生で修士修了もしくは修士相当の方、他学部修士課程修了もしくは修了見込みの方） 薬学専攻博士課程では、2014年度より社会人学生も募集しています。</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>薬科学専攻修士課程：7月下旬 薬学専攻博士課程：7月上旬 締切日時は、正式に決定次第薬学研究科ホームページに掲載します。</p>
<p>■試験内容</p>	<p>薬科学専攻修士課程（8月下旬）：英語（TOEFLスコアを換算：100点）と専門科目の筆記試験および面接により判定（専門科目は分子生物学、分子細胞生物学、生化学、微生物学・遺伝子工学、生物学・生理学、統計学・生態学、無機化学、有機化学、数学・物理学、情報科学、計10問中2問を選択）、専門200点の計300点満点 薬学専攻博士課程：（7月中旬）：外国語（英語）の筆記試験および口頭試問により判定</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> </div>	<p>薬学研究科の大学院生教育では、ヒューマニズムの精神に基づいて、科学技術の発展および人類の福祉と健康に貢献するための薬学研究を推進できる高度な研究能力と学識を有し、かつ国際社会で活躍できる人材の育成を目的としています。特に、高度医療、医薬品開発、大学教育などの高等教育に関与する薬学研究者としての視点を有する医療人および指導者の育成に主眼を置いています。</p> <p>本学は、約140年の歴史の中に創薬基礎研究体系を確立した大学であり、基礎研究の考え方や手法を臨床における薬物治療や医薬品開発に応用する有力な基盤を有しています。そこで薬科学専攻修士課程では、医薬品の創製に係る研究を介し人類の健康と福祉に寄与する研究者としての素養を身につけた人材の育成を目指します。一方本学は、1981年に医療薬学専攻修士課程を日本で初めて設置した大学であり、古くから医学部附属病院等と姉妹校もしくは医薬提携を結び、その基盤を生かした医療薬学研究を推進してきました。そこで2012年度から設置された薬学専攻博士課程では、このような基盤をもとに基礎薬学コースと臨床薬学コースの2コースを設け、疾病と薬物療法あるいは医薬品開発の基礎から臨床までの流れを理解しつつ、基礎薬学研究的知識と手法を用いて臨床応用を強く意識した研究を遂行できる研究者を育成します。さらには、将来の薬学教育を担う指導者的立場の薬剤師や大学教員の育成も本課程で推進していきます。</p> <p>なお、2026年度の学生数（予定）は次の通りです。薬科学専攻修士課程：1年次生10名、2年次生6名、薬学専攻博士課程：1年次生24名、2年次生10名、3年次生13名、4年次生14名。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>入試説明会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬科学専攻修士課程……4月下旬頃に本学にて実施予定 ・薬学専攻博士課程……6月中旬頃にオンライン形式にて実施予定
<p>■問合せ先</p>	<p>〒192-0392 東京都八王子市堀之内1432-1 東京薬科大学教育研究推進部薬学事務課大学院担当 TEL 042-676-7312、FAX 042-676-5413 https://www.toyaku.ac.jp/pharmacy/about/grad-school/</p>

日本女子大学大学院 理学研究科

<p>■募集学生</p>	<p>日本女子大学大学院理学研究科 数理・物性構造科学専攻、物質・生物機能科学専攻 2027年度入学者対象 大学院博士課程前期・博士課程後期 ※社会人出願あり。</p>
<p>■出願期間（予定） 〈2027年度入学者対象〉</p>	<p>博士課程前期【第Ⅰ期】 2026年7月27日(月)～7月31日(金) 博士課程前期【第Ⅱ期】(物質・生物機能科学専攻のみ) 博士課程後期【第Ⅱ期】 2027年1月18日(月)～1月22日(金)</p>
<p>■試験日程および内容（予定） 〈2027年度入学者対象〉</p>	<p>博士課程前期【第Ⅰ期】 [数理・物性構造科学専攻] 2026年9月1日(火) 筆記試験・口述試験 [物質・生物機能科学専攻] 2026年9月1日(火) 筆記試験・口述試験 博士課程前期(物質・生物機能科学専攻のみ)【第Ⅱ期】 [物質・生物機能科学専攻] 2027年2月24日(水) 筆記試験・口述試験 博士課程後期【第Ⅱ期】 [数理・物性構造科学専攻] 2027年2月24日(水) 論文発表 [物質・生物機能科学専攻] 2027年2月24日(水) 論文発表 ※2027年度の出願、試験日程および内容は、4月以降にHPにて公開予定。</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="text-align: center;">  <p>百二十年館</p>  <p>八十年館</p> </div> <p>【目白キャンパス】 JR山手線内の都心にありながら緑豊かなキャンパス。 山手線「目白駅」、東京メトロ副都心線「雑司が谷駅」、 有楽町線「護国寺駅」から徒歩通学が可能です。 全研究科、全学部が1キャンパスで学びます。</p>	<p style="text-align: center;">～深い探求力と自由な発想力を育む、女子総合大学の大学院～</p> <p>本学は「自ら判断し、自ら決定し、自ら実行する力を身につけ、社会に貢献できる女性を養成する」という創立者・成瀬仁蔵の精神を受け継ぎ、新しい時代にふさわしい理系女性の教育に積極的に取り組んでいます。本学大学院理学研究科には、数理・物性構造科学専攻と物質・生物機能科学専攻があります。前者には数理構造部門、情報システム構造部門、構造物性部門があり、数学・情報・物理を基軸とした研究を行っています。後者には物質機能部門・細胞分子機能部門・生理分子機能部門があり、化学、生物を基軸として分子レベルまでの研究を行っています。いずれの部門でも基礎から最先端までの研究を行っており、社会に出てから実践できるように学びます。また、学際的な時代に対応するために、2つの専攻間で専攻を越えた講義の受講、意見交換ができる環境を作っています。ぜひ本研究科で表題に掲げた「深い探求力と自由な発想力」を身につけて欲しいと思います。</p> <p>■奨学金 日本学生支援機構奨学金の他、博士課程前期入学者を対象とした「日本女子大学大学院新入生奨励金」、博士課程前期・後期入学者を対象とした「鈴木優美子記念奨学金」など、本学独自の奨学金があります。地方自治体、民間育英団体の奨学金もあります。</p> <p>■国際的な交流 韓国の梨花女子大学、お茶の水女子大学との3大学間での交流（研究発表会など）をはじめ、大学が掲げる学生の国際会議への参加推進方針により、多数の学生が国際会議へ参加し、発表を行っています。また、他大学大学院との連携も盛んに行われています。</p> <p>■文理融合の多様な教育 2021年の創立120周年を機に、創立の地・目白キャンパスに大学院家政学研究所、人間生活学研究所、文学研究科、人間社会研究科、理学研究科の全5研究科と、家政学部、文学部、人間社会学部、理学部の全4学部を統合。教育・研究棟の百二十年館、学生棟の杏彩館が開館し、本学卒業生であり世界的な建築家 妹島和世氏のグランドデザインによる新しい目白キャンパスが整いました。 大学改革の一環として、2023年度に国際文化学部、2024年度に大学院建築デザイン研究科〔修士課程〕と建築デザイン学部、2025年度に食科学部を開設しました。 続いて、2027年度に食科学研究科〔修士課程〕(仮称)と経済学部(仮称)、2028年度にファッションデザイン学部(仮称)と人間科学部(仮称)の設置を構想中です*。 これらが実現すると、2028年度には大学院7研究科17専攻、大学9学部16学科となり、私立の女子総合大学として文理融合の多様な教育をより一層、推進します。知性と独創的な発想力を磨く学修環境で、新しい明日を共創する人材を育成します。 *2027年度、2028年度の計画は構想中であり、内容は変更となる場合があります。</p> <p>理学研究科に関する詳細は、ホームページをご覧ください。 https://www.jwu.ac.jp/unv/academics/grd_science/index.html</p> 
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>詳細・資料請求は、本学ホームページまたは下記連絡先までお問い合わせください。ご相談は、オープンキャンパス時にも承ります。</p>
<p>■問 合 先</p>	<p>〒112-8681 東京都文京区目白台2-8-1 日本女子大学 入試課大学院係 TEL 03-5981-3786 https://www.jwu.ac.jp/unv/</p>

明星大学大学院理工学研究科

<p>■募集学生</p>	<p>明星大学大学院理工学研究科 2027年度入学生募集 博士前期課程・博士後期課程 理工学専攻（仮称・設置構想中）^{*1,2} （学内推薦、一般選抜を予定しています） ※1 本学では、2027年4月に既存の物理学専攻、化学専攻、機械工学専攻、電気工学専攻、環境システム学専攻の5専攻を改組し、理工学専攻を設置する予定です。また、理工学専攻には、既存の化学専攻の教育研究内容を発展的に継承した化学・生命科学領域を設ける予定です。 ※2 理工学専攻は、設置構想中のため、内容は変更になる場合があります。</p>
<p>■試験日、出願期間</p>	<p>一般選抜（1期）入試：2026年9月下旬（出願は2026年8月頃） 一般選抜（2期）入試：2027年2月下旬（出願は2027年2月頃） 理工学専攻の試験日、出願期間の詳細は、2026年6月頃に公表する大学院学生募集要項をご確認ください。</p>
<p>■試験内容</p> <p>【明星大学へのアクセス】 多摩モノレール利用 最寄り「中央大学・明星大学」駅直結 (1) 新宿駅→（京王線30分）→高幡不動駅 →（多摩モノレール7分）→最寄り駅 (2) 小田急・京王多摩センター駅→（徒歩3分）→多摩センター駅→（多摩モノレール5分）→最寄り駅</p>	<p>理工学専攻の試験内容の詳細は、2026年6月頃に公表する大学院学生募集要項をご確認ください。 なお、ご参考までに2026年度の化学専攻の試験は、下記の内容で実施しました。 博士前期課程（一般1期・2期）：専門科目（物理化学・有機化学・無機化学・分析化学・生化学）と英語の筆記試験および面接 博士後期課程（一般2期）：小論文および面接</p>
<p>■インフォメーション</p>  <p>都心に近く自然豊かなキャンパス</p>  <p>理工学研究科の研究棟30号館</p>	<p>理工学研究科 理工学研究科は、企業・研究所等における企画・設計・研究開発等に貢献することのできる高度な専門技術と知識を持った人材を育成します。さらにそれらを基礎として、将来に向けた新たな研究テーマの発掘及び設定、並びに研究計画の立案及び実行といった自立的な研究能力を備えた研究者・技術者を育成します。</p> <p>化学・生命科学領域 化学は、医療、環境、先端材料など、現代のさまざまな分野の発展の原動力となっており、学界はもとより産業界においても高い専門性を持つ研究者・技術者の需要が高い学問です。化学・生命科学領域では、この社会的背景から複合領域の最前線で実践されている無機分析化学、有機化学、生命科学、環境科学のそれぞれの分野に対応し、確かな専門性を持つ研究者・技術者を育成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●特色ある幅広い分野から自分に適した研究ができます。 （研究例）分子からできた磁石の開発（磁性） 酵素を用いる有機合成化学（生体触媒化学） 有用な微生物酵素群の探索とその機能解析（応用微生物学） ヌクレオソーム間相互作用の解析（細胞生物学） 生体分子間相互作用の解析（構造生物学） クロマチンの機能、遺伝子発現制御機構の解明（分子生物化学） タンパク質のX線結晶構造解析（生物物理化学） ●奨学金、TA制度が充実しています。 ●中学校教諭専修免許状（理科）、高等学校教諭専修免許状（理科）の教職課程の設置を予定しています。但し、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期等が変更となる可能性があります。
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>オープンキャンパスにおいて、専攻個別相談、入試相談、施設見学、資料配付等を実施しております。詳細は大学ホームページ（https://www.meisei-u.ac.jp/index.html）等においてご確認ください。</p>
<p>■問合せ先</p>  	<p>〒191-8506 東京都日野市程久保2-1-1 明星大学理工学部事務センター TEL 042-591-7418 FAX 042-591-7419 E-mail : hino-rikoh-reg-staff（以下、@ml.meisei-u.ac.jp） 理工学研究科HP : https://www.sae.meisei-u.ac.jp/</p>

立教大学 大学院理学研究科 化学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>○博士課程前期課程（試験区分：一般、社会人、外国人） ○博士課程後期課程（試験区分：一般） 試験区分、出願資格等は大学院入試要項 (https://www.rikkyo.ac.jp/admissions/#graduate) をご確認ください。</p>
<p>■出願期間</p>	<p>○博士課程前期課程（夏季）6月中旬 ○博士課程前期課程（春季）1月中旬 ○博士課程後期課程 1月初旬 大学院入試要項 (https://www.rikkyo.ac.jp/admissions/#graduate) の公開後 にご確認ください。 受験願書の提出以前に、研究室配属を希望する指導教員に連絡を取るようお願い します。 連絡先は教員ページをご覧ください。 立教大学理学部／大学院理学研究科公式サイト https://science.rikkyo.ac.jp/ 化学専攻 https://www.rikkyo.ac.jp/graduate/science/major_03.html</p>
<p>■試験内容</p>	<p>○博士課程前期課程 一般入学試験：筆記試験（基礎科目および専門科目：物理化学、無機化学、分 析化学、有機化学の分野から出題、英語）、口頭試問 社会人入学試験：筆記試験（英語）、口頭試問 外国人入試：筆記試験（英語）、口頭試問 ○博士課程後期課程 一般入学試験：口頭試問</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> <p>都心のキャンパスで最先端の化学が学べ ます。</p>	<p>学生と教員が一体となり取り組む研究 物理化学、無機化学、分析化学、有機化学、計算・情報化学分野にて、化学全 般の最先端を学ぶことができます。「マテリアル」、「ライフ」、「エネルギー」分野 にて基礎化学に基づいた未来化学の創生を目指し、学理重視の化学教育にて未来 の化学人材を育成します。化学博士課程前期課程では、1学年の学生数約20名に 対して、13名の教授および准教授が、きめ細かな少人数教育を行っています。大 学院生には、給与奨学金、大学院学生会発表奨励金、学術推進特別重点資金（立 教SFR）など充実した支援制度があります。</p> <p>成長とともに未来の化学を生み出す 物質の性質や変化を体験し、「新しい物質を作り出す楽しみ」「原因を解明する 喜び」を味わうことに化学を学ぶ醍醐味があります。本専攻には、様々な研究者 が共同して研究を行う未来分子研究センターがあり、産学連携も盛んです。また、 理化学研究所、産業技術総合研究所の連携大学院の研究室で研究を行うことも可 能です。大学院生は、第一線の研究者との研究交流とともに、最先端を学び、成 長できます。</p> <p>物理化学：薄膜物性化学・機能物質化学、光物理化学・分子分光化学、界面分光化学、 高分子・液晶化学 無機化学：錯体化学・固体物性化学、錯体化学・触媒化学 分析化学：分離化学、生体物質化学 有機化学：有機合成化学・計算化学、有機元素化学・物理有機化学、有機光化学、 天然物合成化学・創薬化学 計算・情報科学：計算分子科学</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>7月下旬に大学院説明会を行っております。立教大学理学部化学科／大学院理学研 究科化学専攻のHPでご確認ください。 また、立教大学大学院化学専攻に興味をお持ちの方のご訪問は随時受け付けてい ます。詳細は下記の問合せ先までご連絡下さい。</p>
<p>■問 合 先</p>	<p>〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1 立教大学 学部事務3課（理学研究科入試担当） TEL：03-3985-3302 Email：science@rikkyo.ac.jp</p>

早稲田大学 先進理工学研究科 応用化学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>早稲田大学 理工学術院 先進理工学研究科 応用化学専攻 大学院 一般入試（修士・博士後期課程）・社会人特別選考（修士）学生募集 （2026年9月入学及び2027年4月入学を対象） 入学試験要項：ウェブページをご覧ください。 https://www.waseda.jp/fsci/admissions_gs/</p>
<p>■出願期間</p>	<p>1. 一般入試 [修士課程] 2026年9月入学・2027年4月入学 出願：2026/5/25～6/4 筆記試験：2026/7/11 面接試験：2026/7/12 合否：2026/7/24 [博士後期課程] 2026年9月入学 出願：2026/4/7～4/23 面接試験：2026/6/6 合否：2026/6/19 [博士後期課程] 2027年4月入学 出願：2026/11/24～12/3 面接試験：2027/1/9 合否：2027/1/15</p> <p>2. 社会人特別選考 [修士課程] 2026年9月入学 出願：2026/4/7～4/23 面接試験：2026/6/6 合否：2026/6/19 [修士課程] 2027年4月入学 出願：2026/11/24～12/3 面接試験：2027/1/9 合否：2027/1/15</p>
<p>■試験内容</p>	<p>◆修士課程 一般入試：筆記試験及び面接 ◆博士後期課程一般入試・社会人特別選考（修士課程）：口述・面接試験 出願開始日から二年以内のTOEFLまたはTOEIC等の英語能力証明書のスコアカード提出有り</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">応用化学専攻のある理工65号館と地下鉄入口</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●応用化学科(専攻)は1917年の創設以来100周年を超え、歴史と伝統を誇ります。応用化学専攻は「役立つ化学、役立てる化学」をキーワードに、化学について積極的に学びたい方の意欲に応えます。 ●応用化学専攻では、最先端の化学の研究から生み出される「英知」の構築と化学系研究者の「知力」養成を目的とした研究教育を行っています。 ●本専攻では、博士後期課程への進学を推奨しています。また、博士後期課程の学生を強く支援するための制度として、本専攻独自の奨学金制度（複数）があります。 ●卒業生によるOB会として「早稲田応用化学会」が運営されており、独自の奨学金を設立するなど本専攻の学生の支援活動も行っています。在校生と一体となって種々の活動が展開されています。 ●本学博士キャリアセンターが、博士後期課程学生のキャリアパスをサポートしています。 ●キャンパスは東京都心の東京メトロ副都心線西早稲田駅に直結しています。 ●応用化学専攻に関する詳細はウェブサイトをご覧ください。 http://www.waseda-applchem.jp/
<p>■問 合 先</p>	<p>早稲田大学理工学術院統合事務・技術センター事務部総務課 大学院入試係 〒169-8555 東京都新宿区大久保3-4-1 西早稲田キャンパス51号館1階 Email：graduate@sci.waseda.ac.jp 電話：03-5286-3808 Fax：03-5286-1689</p>

早稲田大学 パワー・エネルギー・プロフェッショナル (PEP) 育成プログラム

■募集学生

国公立13大学連携による電力・エネルギー・材料系5年一貫の博士人材育成プログラムへの進入を希望する者。13連携大学全体で毎年度20名程度の学生を募集（博士課程からの編入も可、社会人学生は別途若干名募集）。

■プログラム進入の流れ

STEP1：13連携大学いずれかの大学の所定の専攻に合格。当該専攻が本属専攻となります。

〈プログラム参画大学・専攻一覧〉

<https://dpt-pep.waseda.jp/admissions/>

STEP2：各大学で実施される本プログラムの選抜試験（SE）に合格し、PEPに進入。本属専攻の履修に加え、PEPの学びに取り組みます。



■出願期間

連携大学ごとに異なるため、入学を希望する各大学のPEP卓越大学院事務局にお問い合わせください。

■試験内容

書類選考および口述試験により総合的に判定します。

- ・書類選考：出願書類による
- ・口述試験：これまでの研究内容、志願動機、本プログラム進入／編入後に取り組みたい研究内容、将来のビジョンについてのプレゼンテーションと質疑応答による。

■プログラム概要

—君のエネルギーが、世界を動かすエネルギーに—

本プログラムは、国公立13連携大学（北海道大学、東北大学、福井大学、山梨大学、東京都立大学、横浜国立大学、名古屋大学、大阪大学、広島大学、徳島大学、九州大学、琉球大学、早稲田大学）による5年一貫の博士人材育成プログラムです。カーボンニュートラルのコアの一つである「エネルギーバリューチェーンの最適化」による新産業創出を様々なセクターで主導する「知のプロフェッショナル」を輩出することを目的としています。

エネルギー・材料分野から電力システム分野までを含む一貫通の教育による「技術イノベーション」と、制度設計や従来にない付加価値をビジネスとして結実させる「社会的イノベーション」とを両輪として目指す新たな学理「パワーリソース最適化」の体系的な教育研究プログラムを提供しています。学生は13連携大学の教員の知を結集した科目の履修と、基盤となる本属専攻での博士研究に加え、産学連携研究や海外大学との共同研究等により総合的な課題解決力を身に付けていきます。

学生は本属専攻の修了に加え、本プログラム修了要件を満たすことにより13連携大学の学長・総長印が押印された「PEP卓越大学院プログラム修了証」が授与されます。

このような13大学・企業・研究機関との連携により、PEP生は本属専攻の枠を超えた幅広い人的ネットワークを構築し、その活動の場も多岐に渡っています。

PEP在学・修了生の活動の一端を以下のサイトで是非ご覧ください。

<https://dpt-pep.waseda.jp/activity/>



■問合せ先

〈総合窓口〉

早稲田大学PEP卓越大学院プログラム事務局

〒169-8555 東京都新宿区大久保3-4-1 西早稲田キャンパス51号館1階

Email : pep-info@list.waseda.jp

TEL : 03-5286-3238 FAX : 03-5286-3054

〈各大学PEP卓越大学院事務局〉

<https://dpt-pep.waseda.jp/access/>



神奈川工科大学大学院工学研究科応用化学・バイオサイエンス専攻

■募集学生	博士前期課程（大学学部卒・高専専攻科修了もしくは見込みであること） 博士後期課程（大学院博士前期課程または修士課程を修了もしくは見込みであること） 2027年4月入学 その他、「社会人入試」も行っています。
■出願期間（年間予定）	2026年8月中旬頃（博士前期・後期課程共通） 2027年2月上旬頃（博士前期・後期課程共通） 正式には4月以降に決定します。詳細は下記の問合先までご連絡下さい。
■試験内容	筆記試験、面接、成績証明書等を総合して選考します。英語の試験はTOEICのスコアを使用します。専門科目試験は、以下のように出題します。 A日程入試：一般化学、生命科学、栄養科学の範囲で各大問1題（小問数題から構成する）を出題し、大問1題を選択とする（電卓の使用可）。 B日程入試：実績をプレゼンテーションする。
■インフォメーション 	<p>今日、地球規模での環境との調和に配慮した技術体系の確立に加え、日本をはじめとした先進諸国では高齢化社会を迎え、食や医療に関する知識および技術基盤の整備が強く望まれています。特に、環境との調和と省資源・省エネルギーを基本とした化学プロセスの開発、高機能材料、エレクトロニクスやバイオテクノロジーの分野に於ける技術革新、新エネルギーの開発、食品の機能性の探索、生活習慣病の予防などは重要な課題であり、いずれも応用化学、バイオサイエンスが取り組むべき対象でもあります。本専攻では、このような社会的要請に応えるべく、諸分野にわたる幅広い基礎知識と応用力を養うことで、将来、有能な化学技術者、バイオ技術者、食と健康のスペシャリストとして活躍でき、しかも創造力と広い視野を合わせ持つ人材の輩出を目指しています。</p> <p>本学では、昭和37年の開学時に設置された応用化学科（当時は工業化学科）を母体として、平成18年度から応用バイオ科学科を、平成22年度からは栄養生命科学科（管理栄養士養成課程）を開設しました。応用化学・バイオサイエンス専攻は、これら3学科の「応用化学」「バイオサイエンス」「食品・栄養科学」の学問領域を基盤として、教育と研究の充実に努めてきました。</p> <p>博士前期課程では、科目履修の目安として、4つの履修プランを設けています。これらは「食品・栄養工学」「物質・材料工学」「生物・細胞工学」「環境・健康プロセス工学」からなり、それぞれのコースの特徴を活かした学習を可能としています。カリキュラムは、大学院生が学ぶ上で専門の基礎となる科目（専門基礎科目）と専門応用科目が配置されています。必修科目としてPBL系科目である「総合プロジェクト」、「特別研究（修士論文）」をおいています。「特別研究（修士論文）」は本専攻の26の研究室（2025年度現在）、また連携大学院制度として国立研究開発法人産業技術総合研究所でも指導を受けることが可能です。</p> <p>博士後期課程では、単位制を採用するとともに、研究指導科目として「特別研究（博士論文）」をおいています。さらに高度な専門的知識の習得とそれらを研究に应用する力を養成し、研究者として独立し、十分に活躍できる人材の養成を目的とします。</p>
■大学院入試ガイダンスの開催	特別に設けてありませんので、詳細は下記の問合先までご連絡下さい。
■問合先 	お問い合わせのフォームがホームページにあります。詳しくはホームページをご覧ください（ https://www.kait.jp/education/postgraduate/ ）。 または、専攻主任 飯田泰宏の下記メールアドレス宛に直接お問い合わせ下さい。 Email：iida@bio.kanagawa-it.ac.jp 神奈川工科大学大学院工学研究科応用化学・バイオサイエンス専攻

総合研究大学院大学 先端学術院先端学術専攻分子科学コース（分子科学研究所）

- 募集学生
- 出願期間（年間予定）
- 試験内容

総合研究大学院大学（総研大）先端学術院先端学術専攻分子科学コースは、自然科学研究機構分子科学研究所（分子研）で「化学」「物理学」「生命科学」等の分子が関わる分野を学びつつ研究を行い、学位を取得することができます。2026年度に実施する入試（2026年10月入学または2027年4月入学）の募集要項、日程等の詳細やその他の情報については決定次第、総研大や分子研のホームページでお知らせしますので、随時ご確認ください。

総研大 URL : <https://www.soken.ac.jp/admission/>
分子科学コース URL : <https://www.ims.ac.jp/education/>

（参考）

2026年4月入学にかかる入学者選抜の選抜方法

- ・5年一貫制博士課程
書類選考、英語、筆記試験（専門科目）、面接。
英語はTOEFL、TOEICまたはIELTSのスコアによる判定。
(TOEFL-PBT:500以上、TOEFL-iBT:61以上、TOEIC:586以上、IELTS:5.0以上獲得)。
専門科目は、物理化学、有機化学、無機化学、生物化学、物理学A（古典力学、電磁気学）、物理学B（量子力学、熱統計力学）の6科目から受験する2科目を出願時に選択。
- ・博士後期課程
書類選考、面接。
面接は、これまでに行った研究および今後志望する研究の内容を中心に実施。

■インフォメーション



S O K E N D A I

大学共同利用機関法人 自然科学研究機構
分子科学研究所
Institute for Molecular Science

総合研究大学院大学（総研大）は、世界最先端の研究機関を教育現場とし、高度な専門性を持った博士人材の育成を行っています。総研大は学部を持たない大学院のみの大学であり、学部卒から入学する5年一貫制博士課程および修士修了から入学する博士後期課程が設けられています。2023年4月より6つの研究科を先端学術院に統合し、専門分野を超えて複合的かつ融合的な課題に取り組む研究者人材を育成する方針を採用しています。

分子科学コースの学生は、基盤機関の一つである自然科学研究機構分子科学研究所（分子研）の最先端の研究施設を利用した研究で学位を取得することができます。分子研は国内外のトップレベルの研究者の交流拠点であり、幅広い視野、独創性、国際性を身に付けられる場となっています。また、多くの教員・研究員・支援員が在籍し、学生への手厚い教育を行っています。さらに、短期海外留学や国内大学・公的研究機関でのインターンシップのサポート、学生主導セミナーの開催、他の総研大基盤機関の学生や海外からの留学生・インターン学生との交流イベントなど、多様でユニークな教育プログラムが提供されています。

本コースは学生への経済的支援も充実しています。全年次の大学院生にRA（リサーチアシスタント）などによる経済的支援を行っており、5年一貫制博士課程1年次・2年次は年額115万円、5年一貫制博士課程3年次・4年次・5年次および博士後期課程1年次・2年次・3年次は年額130万円の給与を支給します。また、特に優れた研究能力および意欲を有する学生はSRAとして雇用し、5年一貫制博士課程1年次・2年次は年額200万円、5年一貫制博士課程3年次・4年次・5年次および博士後期課程1年次・2年次・3年次は年額260万円の給与を支給します。

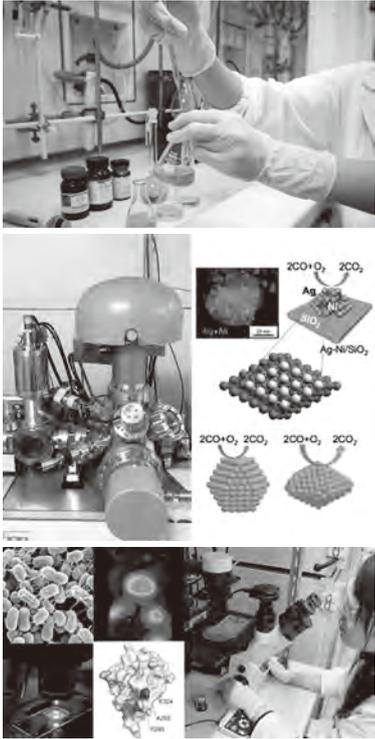
■大学院入試ガイダンスの開催

オープンキャンパス・体験入学実施予定最新情報・詳細は下記URLに掲載します。
<https://www.ims.ac.jp/education/>

■問合せ先

自然科学研究機構 岡崎統合事務センター 国際研究協力課 大学院係
〒444-8585 愛知県岡崎市明大寺町字西郷中38番地
電話0564-55-7139 E-mail : r7139@orion.ac.jp
<https://www.ims.ac.jp/>

名古屋大学 大学院工学研究科 化学生命工学系専攻群

<p>■募集学生</p>	<p>2026年10月入学および2027年4月入学 名古屋大学大学院 工学研究科 有機・高分子化学専攻、応用物質化学専攻、生命分子工学専攻 博士前期課程（修士課程）および博士後期課程学生（留学生入試を含む）</p>
<p>■出願期間</p>	<p>筆記試験免除を希望する場合 2026年5月18日(月)～6月4日(木) 筆記試験免除を希望しない場合 2026年6月15日(月)～7月3日(金) ※詳細日程は学生募集要項を工学研究科ホームページでご確認願います (https://www.engg.nagoya-u.ac.jp/prospective/) 大学院受験参照</p>
<p>■試験内容</p>	<p>◆博士前期課程 a) 筆記試験免除者選抜 書類選考と口頭試問（7月18日(土)） b) 一般選抜試験 筆記試験 【基礎部門】8月18日(火) 13:30～15:30 基礎無機・物理化学、基礎有機化学、基礎生化学の3科目から各2問出題される。 この合計6問から4問を選択して解答する。 【専門部門】8月19日(水) 9:00～11:00 無機・物理化学、有機化学、生化学の3科目から各2問出題される。この合計6問 から4問を選択して解答する。 【口頭試問および面接】8月20日(木) 午後を予定 ◆博士後期課程 博士後期課程への入学希望者は、あらかじめ配属を希望する研究室の教員に連絡 を取ってください。</p>
<p>■インフォメーション</p>  <p>The image block contains several photographs and diagrams. At the top left is a photo of a person in a lab coat and gloves working with glassware in a laboratory. Below that is a photo of a laboratory setup with a large flask and various tubes. To the right of these photos are several diagrams showing molecular structures and chemical formulas. One diagram shows a layered structure with Ag, SiO2, and Ag-Ni/SiO2. Another shows a porous structure with ZCO+O2 and ZCO. There are also smaller diagrams showing molecular models and chemical structures.</p>	<p>◆「幅広い化学分野の専門知識を習得するために必要な基礎学力をもち、新しい化学の探求と化学を通じた社会への貢献に強い意欲をもつ人」を他大学・他分野からも広く募集しています。 ◆【有機・高分子化学専攻】 ナノからマクロスケールの有機化合物の化学 私たちの生活は、医薬や有機電子材料、繊維など機能を持った有機化合物に支えられています。本専攻では、小分子から巨大分子（高分子・超分子）まで全ての有機化合物の物性・合成と応用に関する高度な専門知識が身につきます。広範な分野の世界最先端研究を通して、社会で活躍できる研究者を育成します。 ◆【応用物質化学専攻】 持続型社会を支える材料・物質の創製と応用 原子・分子レベルでの物質制御に基づき、持続可能な社会を支える新物質を生み出し応用展開する学問領域を担います。固体化学や物理化学に関わる深い知識を涵養する専門教育と、化学の視点から物質の成り立ちを解明し革新材料の創製につなげる研究を行います。新たな研究フロンティアを拓く研究者を育成します。 ◆【生命分子工学専攻】 いのちの働きを工学する 生命現象を分子レベルで解析・理解すると共に、その機能を人工的に再構築して幅広く利用することをめざしています。バイオテクノロジーの開発や生物機能を抽出・デザインする技術によって、「いのち」の精緻な働きを工学的に利用していく道を拓きます。基礎と応用を有機的につなぐ研究者を育成します。 ◆本教室では「トランスフォーマティブ化学生命融合研究大学院プログラム(GTR)」を推進しています。本プログラムにより、優秀な博士後期課程学生に対する教育研究環境の整備や経済的支援を充実させ、次世代を担う国際的なリーダーを育成します。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p> 	<p>大学院入試ガイダンス 第1回：2026年3月14日(土) (オンライン) 第2回：2026年5月9日(土) (ハイブリッド：対面+オンライン) 会場：名古屋大学 工学部1号館 内容：有機・高分子化学専攻、応用物質化学専攻、生命分子工学専攻の各専攻についての説明、入試説明、研究室紹介、研究室見学（会場参加者向け）、質疑応答 詳細や参加申込みは下記URL（またはQRコードのリンク）へアクセスしてください。 https://www.chembio.nagoya-u.ac.jp/admit/</p>
<p>■問合先</p>	<p>〒464-8603 愛知県名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院工学研究科化学生命系事務室 TEL 052-789-2660 FAX 052-789-3180</p>

立命館大学大学院生命科学研究科

■募集学生



バイオリンク（生命科学系研究棟）

- ・博士課程前期課程生命科学専攻
 応用化学コース、生物工学コース、生命情報学コース、生命医科学コース
- ・博士課程後期課程生命科学専攻

■出願期間（年間予定）

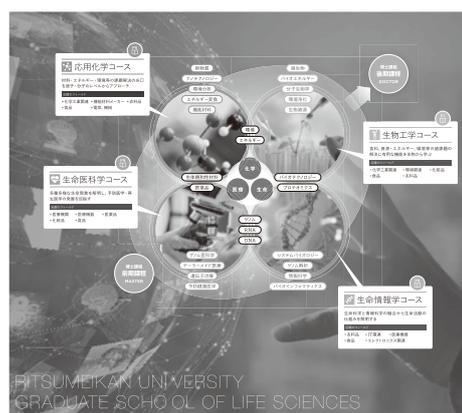
- 2027年4月入学 前期課程・後期課程
1. 一般入試・社会人入試（2026年9月実施）
 出願：2026年7月2日(木)～7月16日(木)
 試験：2026年9月3日(木) 試験予備日：2026年9月10日(木)
 合格発表：2026年10月1日(木)
 2. 一般入試・社会人入試（2027年2月実施）
 出願：2026年12月3日(木)～12月17日(木)
 試験：2027年2月4日(木) 試験予備日：2027年2月9日(火)
 合格発表：2027年2月25日(木)

■試験内容（一般入試・社会人入試）

最新の情報、およびその他の入試（外国人留学生入試、2026年9月入学後期課程入試）についての情報はHP (<https://www.ritsumeai.ac.jp/gr/exam/point.html/>) より入試要項をご覧ください。

- 【博士課程前期課程】(2026年9月実施、2027年2月実施)
- ・一般入試：書類選考、筆記試験（専門科目^{※1}）、外国語（英語）能力審査^{※2}および面接試験結果による総合評価
 - ・社会人入試：書類選考および面接試験結果による総合評価
- ※1 各コースより指定された科目から2科目選択。科目等の詳細は入試要項をご確認ください。
- ※2 TOEIC[®] L&R テストの成績通知書を基に審査。
- 【博士課程後期課程】(2026年9月実施、2027年2月実施)
- ・一般入試：書類選考、筆記試験（英語）または TOEIC[®] L&R テストの成績^{※3}、および面接試験^{※4}による総合評価
 - ・社会人入試：書類選考および面接試験結果^{※4}による総合評価
- ※3 詳細は入試要項をご確認ください。
- ※4 研究テーマ・内容等に関するプレゼンテーションを含みます。

■インフォメーション



生命科学研究科では応用化学分野の最先端研究はもちろん、化学を基盤にエネルギー、環境、食料、医療、健康など、生命科学の幅広い分野に貢献できる人材を育成します。

【応用化学コース】物理化学・無機化学・分析化学・有機化学・生化学などを基盤として、物質の機能を解明するための、また、新物質の創製を実践するための化学的理論と技術を幅広く学びます。材料化学からエネルギー、生体関連物質まで、幅広い分野で研究を展開します。

【生物工学コース】生化学、分子生物学、微生物学などを基盤とし、環境、食料、資源、エネルギーに関連する生物工学理論や技術を幅広く学びます。また、生物機能、生態系の構造・機能の解析や生物由来生理活性物質の解明などの基礎研究、ならびに、これらを基盤とした環境、食料、資源、エネルギーに関する応用研究を展開します。

【生命情報学コース】コンピューター（情報科学）を利用して、生命活動の仕組みを解明することを目的として、その基礎となる生命科学、情報科学、生物機能の解析技術に関する専門知識を幅広く学びます。その上で、遺伝情報、タンパク分子構造—機能相関、生体機能などの数理解析に関する研究を行い、生命科学、医学、薬学、食品、情報技術に関連した研究を展開します。

【生命医科学コース】多岐に渡る基礎医学の先端領域とその融合領域を学び、未知の生命現象や様々な疾病の発症機構を解明します。更に、先端技術で開発された医薬品などの新規医療技術の適切な評価と社会への応用方法も学び、広く生命医科学研究を展開します。

■大学院入試情報の公開

2027年4月入学の入試情報は、2026年4月下旬に生命科学研究科HP・立命館大学大学院 入試情報HP (<https://www.ritsumeai.ac.jp/gr/exam/point.html/>) にて公開予定です。

■問合せ先

〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1 立命館大学びわこ・くさつキャンパス
 生命科学部事務室：Tel (077) 561-5021、Fax (077) 561-3729
 生命科学研究科ホームページ：<https://www.ritsumeai.ac.jp/gsls/>

大阪公立大学大学院工学研究科 物質化学生命系専攻 応用化学分野

<p>■募集学生</p>	<p>2026年度秋入学・2027年度春入学</p> <p>■博士前期課程：一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜、推薦入学を実施（推薦入学は春入学のみ）</p> <p>■博士後期課程：一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜を実施</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>博士前期課程、博士後期課程、秋入学、春入学共通</p> <p>■インターネット出願登録期間 2026年5月29日(金) 10時～6月8日(月) 17時 書類提出（出願）期間 2026年6月1日(月)～8日(月) 消印有効</p>
<p>■試験内容</p>	<p>■博士前期課程（推薦入学）春入学 英語【外部試験】、小論文、口述試験 日程：2026年7月18日(土)</p> <p>■博士前期課程（一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜、秋入学・春入学共通） 筆記試験（専門科目1、2、英語）、口述試験 ※英語はTOEIC、TOEFL-iBT又はIELTSの成績で評価する。 日程：2026年8月18日(火)、19日(水)</p> <p>■博士後期課程（一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜、秋入学・春入学共通） 筆記試験（専門科目、英語）、口述試験 ※出願書類などから判断して、筆記試験を免除する場合あり 日程：2026年8月19日(水)</p> <p>募集方法等の詳細については随時更新しますので、本学Webサイト等でご確認ください。</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="text-align: center;">  <p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">大阪公立大学</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div>	<p>20世紀には、化学は高品質な製品を大量に生産するものづくりを通して、人類の暮らしを向上させてきました。しかし、21世紀の社会では、環境と人にやさしく、人類の福祉に役立つ素材を提供する“新しい化学”（新しいものづくり）が今までも増して求められています。未来を支える“新しい化学”は、既存の概念や既存の化学からではなく、柔軟な感性と価値観によって生まれた、独創性と個性豊かな“Only One Chemistry”から生まれます。</p> <p>大阪公立大学大学院工学研究科物質化学生命系専攻応用化学分野には、9つの基幹研究グループ（分析化学、無機化学、物理化学、電気化学、表面計測化学、気相反応化学、物性有機化学、有機機能化学、生体高分子化学）があり、物質・新素材の創製、エネルギー変換、環境浄化、バイオマテリアルの開発など、基礎から最先端にいたる幅広い分野において、オリジナリティに満ちた“Chemistry”を展開しています。</p> <p>大阪公立大学では、博士後期課程の学生を支援する目的で、研究に専念できる環境づくりを支援するための大阪公立大学独自の制度（研究奨励金制度や特別研究奨励金制度など）を設けています。詳しくは、下記URLを参照してください。</p> <p>https://www.omu.ac.jp/campus-life/tuition/financial_aid/schol-research/</p> <p>応用化学分野では、他大学・他分野からの学生を広く募集しています。フラスコの中には、未知の化学の世界が無限に広がっています。フレッシュな感性と新しい価値観で、君だけの化学を創造してみませんか。応用化学分野では、“Do Your Chemistry”を合言葉に掲げ、君だけの化学の実現を強力にサポートします。</p>
<p>■問合せ先</p> <div style="text-align: center;">  </div>	<p>〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1番1号 大阪公立大学大学院工学研究科物質化学生命系専攻応用化学分野 TEL・FAX 072-254-9910 E-mail: gr-eng-apchem@omu.ac.jp https://www.omu.ac.jp/eng/graduate/appl-chem/</p>

九州大学大学院工学府応用化学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>九州大学大学院工学府応用化学専攻 2027年 4月入学 修士課程（一般）、博士後期課程（一般、社会人） 2026年 10月入学 博士後期課程（一般、社会人）</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>■2027年4月入学： 修士課程（一般） 出願：2026年6月中旬～下旬（予定） 試験：2026年8月中旬～下旬（予定） 博士後期課程（一般） 夏季出願：2026年7月上旬（事前審査6月中旬）（予定） 夏季試験：2026年8月中旬～下旬（予定） （一般、社会人） 春季出願：2027年1月上旬（事前審査12月上旬）（予定） 春季試験：2027年2月上旬～中旬（予定）</p> <p>■2026年10月入学： 博士後期課程（一般、社会人） 出願：2026年7月上旬（事前審査6月中旬）（予定） 試験：2026年8月中旬～下旬（予定）</p>
<p>■試験内容</p>	<p>■修士課程（一般選抜）：筆記試験（専門科目）及び面接を行う。専門科目は「機能物質化学系科目」、「分子生命工学系科目」のいずれかを受験する。 英語資格試験（TOEICまたはTOEFL）のスコア証明書の提出を要する。</p> <p>■博士後期課程（一般選抜）：専攻科目及び修士学位論文（修士課程終了見込みの者は研究経過報告書）について筆記又は口頭試問を行う。</p> <p>■博士後期課程（社会人特別選抜）：これまでの研究成果及び入学後の研究計画等に関して口頭試問を行う。</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;">   </div>	<p>応用化学専攻は、人々の生活を豊かにし、安心して安全な持続可能な社会の実現に貢献する様々な物質・素材を創出するために必要な、高度な専門知識と実践力を持った人材を育成することを教育目的としています。</p> <p>修士課程では、学士課程で修得した応用化学に関する知識を基に新しい視点から課題を解決させ、さらにより細分化・高度化した専門知識とより実践的な実験技術、および最先端の技術開発を行うことができる幅広い知識を自らの力で身に付けさせて、社会のニーズに適応しうる創造性豊かで責任感ある人材を育成しています。年次が進むにつれてより専門化・高度化した教育・研究を実現するため、応用化学専攻には、機能物質化学コースと分子生命工学コースの2コースを設置して、教育を行っています。</p> <p>2つのコースは専門とする領域で分かれており、機能物質化学コースでは主に機能材料の創成に関して、分子生命工学コースでは主に分子システム化学を基盤とする教育研究を行っています。修士課程ではそれぞれ目的に応じて必要な科目を自らが決めて履修する目的指向型のカリキュラムとし、応用化学の様々な分野を幅広く俯瞰する力を備えていながら、細分化された専門的な領域に対応できる人材の育成を目指しています。</p> <p>博士後期課程は、修士課程で培った専門的・学術的な基礎や実践力を高度に発展させながら、分野横断的な最先端研究の情報を収集して、自ら研究課題を設定して、世界レベルで高い影響力を持つ独創的な研究成果を生み出せる研究者・技術者の育成を目指しています。</p> <p>応用化学部門に所属する研究室については下記HPをご覧ください。 応用化学部門機能HP：https://www.cstf.kyushu-u.ac.jp/ 応用化学部門分子HP：https://www.chem.kyushu-u.ac.jp/~cstm/</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>〒819-0395 福岡市西区元岡744番地 九州大学工学部等教務課教務係 Tel：092-802-2724 大学院入試関連HP：https://www.eng.kyushu-u.ac.jpより入試情報ページを参照</p>

沖縄科学技術大学院大学（OIST） 科学技術研究科

■募集学生	2027年度9月入学（同年5月及び翌年1月入学可） 科学技術研究科 博士課程（5年一貫制博士課程のみ）
■出願締切	本学では入学者選抜を年2回実施しており、各選抜の出願締め切りは下記のとおりです。 ・2026年11月15日 ・2027年3月31日
■出願書類	<ul style="list-style-type: none"> ・成績証明書及び在学証明書または卒業（卒業見込）証明書 ・志望動機書（英語400語以内） ・履歴書/Curriculum Vitae, CV（形式自由） ・パスポートのコピー（もしくは写真付きの公的な身分証明書） ・推薦状2通から5通 ・過去2年以内に取得したTOEFLもしくはIELTSのスコア（英語による教育を行っていない大学出身の場合） <p>上記の書類を本学アドミッションページの出願サイトよりご提出下さい。</p>
■選考プロセス	<p>第一次選考として書類選考を行い、入学者選抜委員会にて出願書類を厳正に審査します。その後、書類選考通過者をアドミッションワークショップに招待します。そこでは、OIST全般や博士課程を説明するセッション及び本学教員と計4回の面接を実施します。本ワークショップ終了後、入学者選抜委員会による厳正な審議を行い、最終的な合否通知を行います。</p> <p>詳細は問合先記載の本学アドミッションページをご覧ください。</p>
■インフォメーション	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div> <p>沖縄科学技術大学院大学（OIST）は沖縄県恩納村に位置する大学院大学で、生物学、化学、計算機科学、生態学・進化学、工学・応用科学、海洋学、数学、神経科学、物理学、量子の分野に大別される研究を行っています。本学では2012年9月に単一の研究科（科学技術研究科）を設置し、現在、5年一貫制の博士課程を提供しています。</p> <p>国際的・学際的な大学であるOISTは、教員及び学生の半数以上は外国人であり、学内の公用語は英語となっています。実際、約90名の教員のうち約6割が海外の出身であり、学生も約50の国・地域出身という国際色豊かです。また、博士課程では各々の分野の壁を越えた共同研究や交流を推奨し、学際的な研究活動に取り組める環境となっています。学生支援制度も充実しており、年間約60名の入学する全ての学生に対し、学業・生活支援のための経済支援（約260～360万円/年）やキャンパス内学生宿舍の助成制度、国内・国際会議に出席するための旅費サポート等を提供しています。これらは、国際競争力を持った世界最高水準の研究教育を行なうため、海外の主要大学や研究機関に倣い設定しています。</p> <p>OISTは教職員・学生の多様性を理念の一つとし、女性を含め、全ての研究者たちにとって公平公正な研究環境となるよう取り組みを進めています。現在、博士課程学生の40%以上が女性であり、今後入学を志す学生たちを積極的に支援しています。</p> <p>国内にしながら、海外の博士課程と同等な環境で、博士号取得を目指しませんか。OIST博士課程についてのさらに詳しい内容を知りたい方はホームページをご覧ください。</p> </div> </div>
■大学院入試ガイダンスの開催	沖縄科学技術大学院大学（OIST）では、オンラインまたは全国各地でのOIST Cafe（大学院説明会）やその他イベントを開催しています。日程や会場などの詳細を随時更新していますので、本学アドミッションページをご確認下さい。
■問合先	<p>〒904-0495 沖縄県国頭郡恩納村字谷茶1919-1</p> <p>沖縄科学技術大学院大学（OIST）アドミッション・リクルートメントセクション</p> <p>E-mail : admissions@oist.jp</p> <p>アドミッションページ : https://www.oist.jp/admissions</p>

別冊 大学院入試案内

発行日 2026年4月1日

編集 公益社団法人 日本化学会

発行 「化学と工業」広告小委員会

発行所 公益社団法人 日本化学会

〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5

E-mail : kakoshi@chemistry.or.jp